令 和 6 年 度

昼間コース

演 習 指 針

長 崎 大 学 経 済 学 部

演 習 に つ い て

この演習指針は，令和６年４月から開講される演習の題目及びその内容・方針等を記載したものです。

演習は，長期にわたって履修しなければならないので，十分検討した上で一つの題目を選択し，履修手続きを行ってください。

演習の履修要件，履修方法，履修手続き等は，以下のとおりです。なお，長崎大学経済学部規程（以下「学部規程」という）は，入学時の規程が適用されますので，十分留意してください。

授業科目名	専門ゼミ		
学期・単位数・必修選択	通年・４単位・必修	標準履修年次	３年次
授業の目的・到達目標	「実践的エコノミスト」の養成を目指し、講義科目の内容の系統的理解を前提とした、特定の学問領域に関する知識の深化を図る。４年次に作成する卒業論文のテーマ選択へ向けて、専門領域における問題発見とその解決のプロセスを通じ、思考能力を涵養する。		
授業方法	各ゼミは９名から２０名の少人数で構成される。１年間を通して一人の教員の指導のもとに履修する必修科目である。専門ゼミの単位修得後、原則として同一教員の指導のもとに卒研ゼミを履修する。所属ゼミ決定のために、教員と履修希望者との面接等を実施し履修希望者が多い場合は選抜が行われることがある。（面接等については、本指針の各教員による説明を参照。）		
指導内容等	「実践的エコノミスト」の養成に照らして各教員が設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生の主体的な学習を中心とした多彩なゼミ運営が行われる。各ゼミの課題・テーマ、内容と方法、教科書・教材・参考書等については、本指針の各教員による説明を参照。詳細は指導教員が指示する。		
成績評価の方法・基準等	ゼミの課題・テーマにたいする取り組み方、主体的・積極的なゼミへの参加、報告やプレゼンテーションなどを基本として、各指導教員が成績評価を行う。		
履修要件	専門ゼミを履修するためには、次に掲げる単位数を修得していなければならない。 令和３年度以降入学者 (1)教養教育科目の修得単位数が２２単位以上（外国語科目６単位以上を含む） (2)専門教育科目の修得単位数が２６単位以上 平成２４年度～令和２年度入学者 (1)教養教育科目の修得単位数が２８単位以上（外国語科目８単位以上を含む） (2)専門教育科目の修得単位数が２０単位以上		
備考	ゼミによっては受入れコースや上記以外の履修条件を指定している場合があるので、注意が必要である。		

授業科目名	卒研ゼミ		
学期・単位数・必修選択	通年・４単位・必修	標準履修年次	４年次
授業の目的・到達目標	卒業研究ゼミであり、大学において習得した知識の体系化と応用、また専門ゼミにおいて培ったテーマ選択（問題解決）能力、調査研究能力等の一層の発展を目指し、各専門領域の研究を進める。大学教育の集大成として位置づけられ、その成果を卒業論文として完成させる。		
授業方法	各ゼミは９名から２０名の少人数で構成される。原則として専門ゼミと同一教員の指導のもとに履修する必修科目である。卒業論文は原則として個人研究により、個々の学生に合わせた個別指導が行われる。		
指導内容等	論文作成プロセスを通じて、幅広い教養と基礎的知識の定着を図りつつ専門的知識を一層掘り下げ、問題解決方法を生み出す思考能力を育成する。各学生の選択テーマや問題意識に則して、文献・資料の探索やデータ整理・分析、論文の形式、構成や論旨展開など、さまざまな観点から指導教員が助言を与える。		
成績評価の方法・基準等	第４年次の指定された期日までに卒業論文を提出しなければならない。成績評価は提出された卒業論文等により各指導教員が行う。		
履修要件	卒研ゼミを履修するためには、専門ゼミの単位を修得していなければならない。		
備考			

○募集及び履修手続き

(1) 募集人数・採用数

各ゼミの募集人数は９～２０名とする。

(2) 募集日程

募集は下記の日程により行う。

区分		期日	申込手続等
第１次募集	提出締切	１１月２４日（金）１７時００分	対象となる全ての学生は、第１次募集申込書を学務係へ提出する。
	面接等	１２月１日（金）～１２月７日（木）	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	１２月１１日（月）１２時３０分	ピロティー掲示板で発表するとともに、第２次募集を行う教員名を掲示で知らせる。
第２次募集	提出締切	１２月１４日（木）１７時００分	第１次募集で決定しなかった学生は、第２次募集申込書を学務係へ提出する。
	面接等	１２月１８日（月）～１２月２０日（水）	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	１２月２２日（金）１２時３０分	ピロティー掲示板で発表するとともに、第３次募集を行う教員名を掲示で知らせる。
第３次募集	提出締切	１月１０日（水）１７時００分	第２次募集で決定しなかった学生は、第３次募集申込書を学務係へ提出する。
	面接等	１月１７日（水）～１月１９日（金）	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	１月２４日（水）１２時３０分	ピロティー掲示板で発表する。
第３次募集結果発表後の手続き		第３次募集までに決定しなかったものについては、ピロティー掲示板で各ゼミの採用決定状況を確認のうえ、引き続き決定するまで手続きを行う。	

※ 面接等実施日程、見学実施日程、個別相談日程は次ページ以降に掲載
※ シラバスを、LACS 及び経済学部ホームページ掲載の「演習指針」から必ず確認すること。
経済学部ホームページ →在学生の皆様へ →受講の手引き →ゼミナールガイド →
令和６年度昼間コース演習指針
最終的な履修決定者（履修要件を満たした者）は，令和６年４月初めに掲示にて発表する。

〇指導教員の変更について

(1) 履修登録取消や辞退の場合は，あらためて履修手続を行い，新たに専門ゼミ及び卒研ゼミを，原則として同一指導教員のもとに履修しなければならない。
(2) やむを得ない事情により，同一指導教員のもとに履修することができない場合は，指導教員の変更を認めることがある。（指導教員の転出，休職，長期出張等）

〇演習室使用上の注意等

(1) 演習は，４月初めに割り当てられた演習室で行われる。
(2) 演習室を使用する場合は，事前に学務係の使用簿に記入し，鍵を預かり，使用後は施錠し学務係へ返却する。
(3) 演習室の使用時間は，原則として 14 時 30 分～17 時 40 分までとし，時間外に使用するときは指導教員を経て学務係に申し出ること。
(4) 演習終了後は，戸締まり等を確実に行うこと。
(5) 演習に関わる報告書等を作成するための印刷機を本館２階・多目的室に設置する。使用方法については，学務係窓口または掲示等で確認すること。

〇その他申込みについての注意事項

(1) 専門ゼミ募集に関する連絡事項（面接日・ゼミ見学・相談日時の変更等）・ゼミ決定通知通知は LACS 掲載及び本館１２講義室前ピロティーの掲示板に掲示するので、随時確認すること。
(2) 申込書の配付
１０月中旬頃から学務係前情報コーナーに設置するので、各自第何次募集かを記載して使用すること。
また、LACS 掲載及び経済学部ホームページにも掲載するので、各自印刷して提出することもできる。
(3) 教員宛に事前提出物がある場合も、専門ゼミ申込書は必ず学務係前のレポートボックスに提出すること。
(4) 申込書の「題目」欄は、後の「演習題目及び担当教員一覧」に記載されている「演習題目」を記入すること。
(5) 教員宛にメールを送信する場合は、『学生番号・氏名および「ゼミ募集について」』等件名を入れること。携帯電話でメールを受信する場合は、ＰＣからのメールを受信できるようにしておくこと。教員からの連絡が滞る場合には、電話や学務係を通じて必ず確認すること。
(6) 本演習の面接を理由とした講義の「欠席届」の提出はできない。万が一、講義の時間と重複する場合は教員に時間等調整の相談をすること。
(7) 提出物や面接の日時については、LACS、演習指針及び本館１２講義室前ピロティーの掲示板を確認し、その指示に従うこと。指示に従わない場合は受け入れないことがある。
(8) ゼミ決定後は、原則辞退することはできないので注意すること。（選考時に未決定となった他の学生が不利益を被ることを防ぐため。）
(9) 国際ビジネスプログラム参加学生は、「演習題目及び担当教員一覧」の「プログラム学生受入れ」欄に〇があるものから選択すること。
(10) 早期卒業予定者は、「演習題目及び担当教員一覧」の「早期卒業予定者受入れ」欄に〇があるものから選択すること。

令和5年10月4日現在

専門ゼミ　面接等実施日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	区分	面接実施日	時間帯	場所	注意事項
井田　洋子	憲法問題の探究	第1次募集	12月4日（月）	17:40 ～ 18:30	本館5階教員談話室	関心を持つ憲法問題tについて書かれた論文・書籍・新聞等の切り抜きを持参すること。
		第2次募集	12月18日（月）	17:40 ～ 18:30	本館５階教員談話室	
		第3次募集	1月17日（水）	13:00 ～ 14:00	本館５階教員談話室	
井畑　陽平	競争法（独占禁止法）研究	第1次募集	12月1日（金）～12月7日（木）		東南アジア研究所3階共用スペース（か、311研究室）	・志望者は, 学務係への募集申込に加えて、面接の2日前までに、志望理由書（800字程度）を、ワード等で作成し、メールに添付して送信して下さい。 ・志望理由書には、自己紹介、志望理由そしてこの演習で取り組みたいテーマについて、書いて下さい。 ・具体的な面接日時や場所については、調整さんなどを用いて決めます。教員から届くメールを、必ず、確認して下さい。 ・メールを、円滑にやりとりできる志願者を優先的に受け入れいます。 ・メールを送信する際、件名には「ゼミ面接希望、学生番号、氏名」を必ず記載して下さい。
		第2次募集	12月18日（月）～12月20日（水）			
		第3次募集	1月17日（水）～1月19日（金）			
今仁　裕輔	企業ファイナンス	第1次募集	12月1日 (金)	11:00 ~ 17:00	本館6階603号室	面接の時間の設定のために,前日までにメールでアポイントメントをとってください。その際に、以下についてWord1枚でまとめたものをメールで送付してください。 (1) 専門ゼミでどういったことを学びたいと思い、志望したか (2) これまでに履修した金融/計量経済/統計関連の講義名と、それぞれの講義で印象に残ったトピック 送付先：y_imani@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	12月18日 (月)	11:00 ~ 17:00	本館6階603号室	
		第3次募集	1月19日 (金)	11:00 ~ 17:00	本館6階603号室	
宇都宮　譲	人的資源管理	第1次募集	11月30日（木）	14:30 ～ 15:30	東南アジア研究所209室	
		第2次募集	12月14日（木）	14:30 ～ 15:30	東南アジア研究所209室	
		第3次募集	1月18日（木）	14:30 ～ 15:30	東南アジア研究所209室	
大角　道子	確率論を中心に数学に慣れ親しむ	第1次募集	12月6日(水)	17:00 ～ 17:30	本館演習室(演習室番号は別途指示します．)	候補となるテキストで使う数学の問題を出題しますので，答案を(解ける解けないにかかわらず)面接時までに作成して持参してください.
		第2次募集	12月20日(水)	15:00 ～ 15:30	同上	
		第3次募集	1月17日(水)	17:00 ～ 17:30	同上	
岡田　裕正	財務会計論	第1次募集	12月1日（金）	12:10 ～ 12:50	東南アジア研究所3階 岡田研究室	″・ゼミ希望者は、面接前に岡田までメール（メールの件名は「ゼミ面接希望、学生番号、氏名」と記載）送ること。面接で利用するアンケート用紙をメール添付で送るので、面接前日までにメール添付で返送すること。 ・上記に加え、ゼミ志望動機を400字程度にまとめて、面接時に持参すること（上記アンケートと合わせて送付も可）。 ・講義や体調の関係で第1次募集に来れないまたは遅刻の場合は、上記メールアドレス宛にその旨連絡すること。 ・体調管理システムの入力をしておくこと。″
		第2次募集	12月18日（月）	12:10 ～ 12:50	東南アジア研究所3階 岡田研究室	
		第3次募集	1月18日（木）	12:10 ～ 12:50	東南アジア研究所3階 岡田研究室	
小野　哲	管理会計論	第1次募集	12月４日（月）	12:00 ～ 13:00	オンライン	申込者は面接の実施の前にメールにて申し込みの旨を連絡してください。折り返し招待メールを送信します。
		第2次募集	12月18日（月）	12:00 ～ 13:00	オンライン	
		第3次募集	1月15日（月）	12:00 ～ 13:00	オンライン	

加藤　隆宏	租税法研究	第1次募集	12月1日（金） 12月4日（月）	12:00　～　16:00		面接を希望する学生は、事前に日程調整を行うこと。 A4用紙 1枚（様式は自由）にまとめた自己紹介文（志望理由を含む）を作成し、面接前に加藤宛にメールで送付すること。
		第2次募集	12月18日(月)	12:00　～　16:00		
		第3次募集	1月17日(水)	12:00　～　16:00		
神薗　健次	経済数学	第1次募集				受講希望者は，①志望理由，②シラバスで指定された教科書第2章の練習問題2.3～2.5，の2点をレポートにまとめ，募集期間中に，担当教員へのメール添付，もしくは担当教員のメールボックス(本館1階エレベータ前)への投函のいずれかの方法により提出すること．選考はレポートの内容によって行い，面接は実施しません．
		第2次募集				
		第3次募集				
木村　眞実	マネジメントの実践	第1次募集	12月4日（月）	13:00　～　19:00	本館6階630木村研究室	・希望する方は，12月1日(金)17:00迄に（日時厳守），木村へ，メールで，面接申込をしてください． mkimura@nagasaki-u.ac.jp ・面接申込メールの際に，志望理由書（400字以上で，自己紹介，本演習で研究したいテーマ等を記述）を添付してください． ・面接申込のメール件名を「演習面接希望（学生番号，氏名）」でお願いします． ・12月2日（土）17:00に，面接対象者へ，面接時間をメール返信します． ・希望者多数の場合には，個別相談を受けていた方への面接を割愛する場合があります．
		第2次募集	12月18日（月）	13:00　～　19:00	本館6階630木村研究室	
		第3次募集	おって通知			
工藤　健	経済政策およびマクロ経済分析	第1次募集	12月1日(金)～ 12月7日(木)	8:50　～　17:40	本館5階521工藤研究室またはオンライン	募集申込書に加えて，募集申込書の提出締切までに，下記のQRコードから「応募シート」フォームにアクセスし，必要事項を記入して回答を送信すること。面接時間の割当等に使用します。
		第2次募集	12月18日(月)～ 12月20日(水)	8:50　～　17:40	本館5階521工藤研究室またはオンライン	
		第3次募集	1月17日(水)～ 1月19日(金)	8:50　～　17:40	本館5階521工藤研究室またはオンライン	
桑波田　浩之	国際経済学	第1次募集	12月5日(火)	10:00　～　14:00	本館6階　桑波田研究室	面談の前に、1. 自己紹介、2. 大学で勉学以外で熱心に取り組んでいること、3. 希望する進路の3点をA4用紙1枚以内にまとめたファイルを添付メールで送ってください。
		第2次募集	12月19日(火)	10:00　～　14:00	本館６階　桑波田研究室	
		第3次募集	1月18日(木)	10:00　～　14:00	本館６階　桑波田研究室	
式見　拓仙	統計学	第1次募集	12月6日（水）	12:10　　12:40	東南アジア研究所2階２１４	１．シラバスで指定しているテキストを必ず手に取って自分の学びたいことと合致しているかどうかを確認してください． ２．本ゼミに応募する学生は面接日時に東南アジア研究所2階２１４までお越しください． ３．面接の前日までに自己紹介と志望動機をA４一枚程度（横書）にまとめたものを以下の宛先に送ってください（締切厳守）． shikimi@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	12月19日（火）	12:10　　12:40	東南アジア研究所2階２１４	
		第3次募集	1月17（水）	12:10　　12:40	東南アジア研究所2階２１４	
宍倉　学	公共経済研究	第1次募集	12月5日（火）	12:00　～　13:00	東南アジア研究所205研究室	面接時にゼミで取り組んでみたい研究を聞きしますので、取り組みたい内容をA4で1枚程度にまとめたものを持参してください。
		第2次募集	12月19日（火）	12:00　～　13:00	東南アジア研究所205研究室	
		第3次募集	1月17日（水）	12:00　～　13:00	東南アジア研究所205研究室	
徐　陽	制度会計	第1次募集	12月7日(木)	12:00　～　13:00	本館5階508研究室	面接前に教員宛に、A４用紙 1枚にまとめた自己紹介文（800 字程度、志望理由を含む）を送付し、面接時に持ってくるとともに取得単位を把握すること。
		第2次募集	12月18日(月)	12:00　～　13:00	本館5階508研究室	
		第3次募集	1月17日(水)	12:00　～　13:00	本館5階508研究室	
白水　桂子	社会言語学	第1次募集	12月1日（金） 12月4日（月）		オンラインによる面接(時間は相談の上、決定する)	1次～3次募集のいずれも、応募を考えている場合は、個別相談、またはメールでの相談を必ず事前にして下さい。実際に応募する際には個別相談時に指定する日時までに、A４用紙 1枚の志望理由書のファイルをメール添付で送付して下さい。申込書には確実に連絡が取れるメールアドレスを記入して下さい。
		第2次募集	12月18日（月）		オンラインによる面接(時間は相談の上、決定する)	
		第3次募集	1月17日（水）		オンラインによる面接(時間は相談の上、決定する)	

鈴木　崇文	国際貿易政策	第1次募集	12月4日(月) 12月5日(火)	13:30　～　16:00	本館６階６２４ 鈴木（崇）研究室研究室	面接時に、志望理由及び国際貿易に関連した関心事項について説明できるよう準備しておくこと。
		第2次募集	12月18日(月) 12月19日(火)	13:30　～　16:00	本館６階６２４ 鈴木（崇）研究室研究室	
		第3次募集	1月15日(月)	13:30　～　16:00	本館６階６２４ 鈴木（崇）研究室	
鈴木　斉	コンピュータセキュリティ	第1次募集	12月1日～ 12月7日迄	相談に応じます。	本館6階631鈴木研究室 もしくはオンライン面接	面接時にA4用紙1頁にまとめた自己紹介を持参して下さい。面接日時の希望については sigh@nagasaki-u.ac.jp に連絡願います。 なお、8名を超える内定者を決定した場合は、以後の募集は行ないません。
		第2次募集	12月18日～ 12月20日迄	相談に応じます。	本館6階631鈴木研究室 もしくはオンライン面接	
		第3次募集	1月17日～ 1月19日迄	相談に応じます。	本館6階631鈴木研究室 もしくはオンライン面接	
髙井　計吾	マネジメントの実践	第1次募集	12月５日(火)	14:30　～　16:00	本館5階525高井研究室	・面接時刻や形式などの詳細については、こちらから応募者にメールします。 ・学務への申込書提出に加え、面接2日前までに、800字程度の自己紹介文（志望理由を含む）をワード等で作成・添付し、 kegotak@nagasaki-u.ac.jp まで送付してください。
		第2次募集	12月18日（月）	14:30　～　16:00	本館5階525高井研究室	
		第3次募集	1月19日（金）	14:30　～　16:00	本館5階525高井研究室	
高橋　史早	マーケティングゼミ	第1次募集	12月1日（金）～ 12月7日（木）	13:00　～　18:00	本館5階504研究室	【受講希望者全員】学務係への申込書の提出締切日までに，志望動機と 自己 PR を A4 用紙 1 枚（両面可）にまとめ，申込書と一緒に学務係に提出して下さい。また，研究室（本館5階504）の扉に貼ってある面接予定表を確認し，希望する時間帯（先着順）に学籍番号を記入して下さい。 一人 15 分程度の面接を実施します。面接日当日は，各自の希望した時間帯に成績表を持参の上，研究室に来室して下さい。
		第2次募集	12月18日（月） ～12月20日 （水）	13:00　～　18:00	本館5階504研究室	
		第3次募集	1月17（水）～ 1月19日（金）	13:00　～　18:00	本館5階504研究室	
津留崎　和義	マネジメントの実践	第1次募集	12月4日（月）	16:30　～　19:00	本館6階601津留崎研究室	開始時刻に遅れずに集合のこと
		第2次募集	12月18日（月）	16:30　～　19:00	本館6階601津留崎研究室	
		第3次募集	おって通知			
林　徹	経営学	第1次募集	12月1日(金)	13:30　～　21:00	本館６階６２７林研究室	「個別相談」を済ませている者に対しては，原則として面接を割愛します。 連絡してください。 thaya@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	12月20日(水)	15:00　～　17:00	本館６階６２７林研究室	
		第3次募集	1月17日(水)	15:00　～　17:00	本館６階６２７林研究室	
林川　万理水	企業情報開示	第1次募集	12月1日(金)	12:00　　13:00	オンライン （集団面接形式）	ゼミ申し込み後にワードファイルに以下の内容保存して添付送信すること。①志望動機、②将来の進路、③書きたい卒論内容（各項目を500字程度で）※進路、卒論について「まだ決まっていません」の回答はなしでお願いします。暫定的なものであっても決めてください。
		第2次募集	12月18日(月)	12:00　　13:00	オンライン （集団面接形式）	
		第3次募集	1月17日（水）	12:00　　13:00	オンライン （集団面接形式）	
原　由紀恵	Linguistics	第1次募集	12月6日(水)	12:30　～　14:00	Zoom/本館5階509	By the application deadline, email Yukie HARA at harayukie@nagasaki-u.ac.jp to submit your writing (1 page, A4) by attachment, which describes in English (1) why you choose this seminar, and (2) what you like to achieve by joining this seminar (your research theme). Inform any unavailable times for the interview in the email. The interview is to be done in English.
		第2次募集	12月20日(水)	13:00　～　14:00	Zoom/本館5階509	
		第3次募集	1月17日(水)	13:00　～　14:00	Zoom/本館5階509	
藤田　泰昌	国際関係論	第1次募集	12月5日（火） 12月6日（水）	16:30　～　17:30 13:00　～　14:30	本館６階　藤田研究室	ゼミの志望理由とゼミで行いたいことを説明できるよう、準備してくること。
		第2次募集	12月19日（火） 12月20日（水）	16:30　～　17:30 13:00　～　14:30	本館６階　藤田研究室	
		第3次募集	1月17日（水）	13:00　～　14:30	本館６階　藤田研究室	
辺見　英貴	マネジメントの実践	第1次募集	12月1日（金）	17:00　～　18:00	本館6階608辺見研究室	面接時に、Ａ４用紙 1枚にまとめた自己紹介文（志望理由を含む、字数は不問）を持ってくること。
		第2次募集	12月20日（水）	17:00　～　18:00	本館6階608辺見研究室	
		第3次募集	1月17日（水）	17:00　～　18:00	本館6階608辺見研究室	

丸山　真純	異文化コミュニケーション研究	第1次募集	12月6日(水)	12:10 ～ 12:50	本館５階教員談話室	申込時に、A4用紙 1枚にまとめた自己紹介文（800 字程度、志望理由を含む）を申し込み用紙に添付すること。
		第2次募集	12月20日(水)	12:10 ～ 12:50	本館５階教員談話室	
		第3次募集	1月17日(水)	12:10 ～ 12:50	本館５階教員談話室	
南森　茂太	日本経済史研究	第1次募集	応相談	応相談　　応相談	本館6階625研究室	ゼミ申し込みの際に面接の希望日、希望時間について複数候補をメールにてお伝えください（shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp）。 面接時には現在どのようなテーマに関心があるかを書いた志望理由書（800字程度）を持参してください。
		第2次募集	応相談	応相談　　応相談	本館6階625研究室	
		第3次募集	応相談	応相談　　応相談	本館6階625研究室	
三輪　加奈	開発経済研究	第1次募集	12月４～7日	12:00 ～ 13:00	本館6階623研究室	事前にメールで希望日を連絡すること。都合がつかない場合はその他の日時でも調整可能。 面接時に、自己紹介や志望動機をまとめたもの（A4用紙 1枚）を持ってくること。
		第2次募集	12月18～20日	12:00 ～ 13:00	本館6階623研究室	
		第3次募集	1月17～19日	12:00 ～ 13:00	本館6階623研究室	
森保　洋	計量経済学とデータサイエンス	第1次募集	12月4日(月)	12:00 ～ 13:00	東南アジア研究所313研究室	面接時に、A4用紙 1枚にまとめた自己紹介文（800 字程度、志望理由を含む）を持ってくること。
		第2次募集	12月18日(月)	12:00 ～ 13:00	東南アジア研究所313研究室	
		第3次募集	1月17日(水)	12:00 ～ 13:00	東南アジア研究所313研究室	
山口　純哉	地域経済論	第1次募集	12月1日(金)	16:00 ～ 20:00	本館3階オープンラボ2	学務係に書類を提出すると同時に、A4一枚程度の志望動機を添付したメールを山口まで送信すること。面接時間を記したメールを返信します。
		第2次募集	12月18日(月)	18:00 ～ 21:00	本館3階オープンラボ2	
		第3次募集	1月17日(水)	18:00 ～ 21:00	本館3階オープンラボ2	
吉沢　裕典	ミクロ経済学	第1次募集	12月4日(月)	14:00 ～ 17:00	本館5階510吉沢研究室	・応募に際しては, 個別相談の時間などを利用し, 内容などに関して事前に必ず説明を受けてから応募すること. 事前説明を受けない者は受入不可. 事前にメールをもらえれば, 個別相談の時間以外も可能な限り対応する. ・応募者多数の場合は志望理由, 関連科目の成績などを基に決定する. 志望者は, 学務係への募集申込に加え, 学務係への募集申込の事前に志望理由書（簡単な自己紹介, 履修済み科目とその成績及び履修中の科目, 志望理由を書いたもの. 様式自由）を吉沢のメールアドレス宛に送信すること. メールを送る場合は一目でゼミへの応募と分かるようにタイトルをつけるように. 折り返し, 面接日時を送信元メールアドレスに送る.
		第2次募集	12月18日(月)	14:00 ～ 17:00	本館5階510吉沢研究室	
		第3次募集	1月18日(木)	13:00 ～ 14:00	本館5階510吉沢研究室	
林　麗桂	組織行動心理研究	第1次募集	12月1日(金)	18:00 ～ 18:30	本館5階531研究室	・志望者は, 学務係への募集申込に加えて、<u>成績表と志望理由書</u>（400字程度）を面接日に必ず持参すること。 ・ゼミ申込書には必ず<u>大学のメールアドレス</u>を記載すること。 ・志望理由書には、自己紹介、志望理由そしてこの演習で研究したいテーマについて記載すること。 ・メールで問い合わせのある場合、メールの件名には「ゼミ面接希望、学生番号、氏名」を必ず記載すること。
		第2次募集	12月22日(金)	18:00 ～ 18:30	本館5階531研究室	
		第3次募集	1月19日(金)	18:00 ～ 18:30	本館5階531研究室	

令和5年10月6日現在

専門ゼミ　ゼミ見学実施日程

期間：10月12日（木）～11月17日（金）

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	曜日	校時	場所	実施日					
					10月				11月	
井畑　陽平	競争法（独占禁止法）研究	月	5	東南アジア研究所３階共同研究室	16	30			6	
今仁　裕輔	企業ファイナンス	木	4	本館33演習室			26		9	
宇都宮　譲	人的資源管理	木	4	東南アジア研究所203室	5	12	19		9	
大角　道子	確率論を中心に数学に慣れ親しむ	水	3	本館23演習室	11	18	25		8	
岡田　裕正	財務会計論	木	4または5	本館44演習室	12	19	26		2	9
加藤　隆宏	租税法研究	火	4	本館４１演習室	17	24	31		7	14
木村　眞実	マネジメントの実践	金	4～6	メディアステーション1・2　※予定変更が生じた際には教室ドアにその旨を掲示します.	13				17	
桑波田　浩之	国際経済学	火	4	本館42演習室	17	24	31		7	14
式見　拓仙	統計学	月	5	東南アジア研究所ファカルティセミナー室	16	23				
宍倉　学	公共経済研究	火	5	新館209・210教室	17	24	31		7	14
徐　陽	制度会計	木	4	新館205演習室	12	19	26		9	
鈴木　崇文	国際貿易政策	木	4	本館41演習室	19				9	
鈴木　斉	コンピュータセキュリティ	金	4	本館41演習室	13	20	27		10	17
髙井　計吾	マネジメントの実践	火	4	本館４Fメディアステーション	17	24	31			
高橋　史早	マーケティングゼミ	火	5	本館24演習室	24	31			7	
津留崎　和義	マネジメントの実践	金	3～5	メディアステーション1・2	27				10	
林川　万理水	企業情報開示	木	4	見学アポをメールで取る時に知らせる	19	26			2	
藤田　泰昌	国際関係論	木	4	本館42演習室	19	26			2	
辺見　英貴	マネジメントの実践	木	4	本館23演習室	19	26				
南森　茂太	日本経済史	火	4	附属図書館経済学部分館ラーニングコモンズ	17	24	31		7	14
三輪　加奈	開発経済研究	木	4	新館209・210演習室	19	26			2	
山口　純哉	地域経済論	木	5	本館21教室	19				9	
林　麗桂	組織行動心理研究	金	4，5	本館４階第3メディアステーション	27	10	17	24		

令和5年10月4日現在

専門ゼミ　個別相談日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	実施日	時間帯	場所	備考
井田　洋子	憲法問題の探究	11月13日（月）	17:40 ～　18:30	本館５階教員談話室	事前にメールでアポを取ること
		11月20日（月）	17:40 ～　18:30	本館５階教員談話室	
今仁　裕輔	企業ファイナンス	10月16日(月)	11:00 ～ 17:00	本館6階603号室	時間を決めるため、事前にメールでアポを取ること
		10月30日(月)	11:00 ～ 17:00	本館6階603号室	
宇都宮　譲	人的資源管理	随時			
小野　哲	管理会計論	10月16日（月）	12:10 ～ 13:00	オンライン	事前にメールで個別相談の申し込みをしてください。折り返し招待メールを送信します。
		10月23日（月）	12:10 ～ 13:00	オンライン	
		10月30日（月）	12:10 ～ 13:00	オンライン	
加藤　隆宏	租税法研究	10月13日（金）	12:00 ～ 16:00	本館6階602研究室	事前にメールで日程調整すること ※メールアドレスはシラバス参照
		10月20日（金）	12:00 ～ 16:00	本館6階602研究室	
		10月27日（金）	12:00 ～ 16:00	本館6階602研究室	
神薗　健次	経済数学				対面またはZoomでの相談を受け付けます．希望者はメールで日時をご相談ください．
木村　眞実	マネジメントの実践	随時			・個別に行います．事前にメールでアポイントを取って下さい．mkimura@nagasaki-u.ac.jp ・相談申込のメール件名を「個別相談希望（学生番号，氏名）」でお願いします． ・相談申込のメールには，相談希望日時を５つ，ご提示ください． ・相談日時を，可及的速やかに，木村からメール返信します．
工藤　健	経済政策およびマクロ経済分析	10月16日(月)	12:00 ～ 17:00	本館5階521工藤研究室またはオンライン	事前に電子メールで予約すること
		10月24日(火)	12:00 ～ 17:00	本館5階521工藤研究室またはオンライン	
		11月1日(水)	12:00 ～ 17:00	本館5階521工藤研究室またはオンライン	
桑波田　浩之	国際経済学	10月10日(火)	10:00 ～ 14:00	本館6階　桑波田研究室	事前にメールで日時を知らせて下さい。
		10月24日(火)	10:00 ～ 14:00	本館6階　桑波田研究室	
		11月7日(火)	10:00 ～ 14:00	本館6階　桑波田研究室	

徐　陽	制度会計	10月12日(木)	12:10 ～ 13:00	本館5階508研究室	事前にメールでアポを取ること
		10月27日(金)	12:10 ～ 13:00	本館5階508研究室	
		11月6日(月)	12:10 ～ 13:00	本館5階508研究室	
白水　桂子	社会言語学	10/31～ 11/2の間		オンラインによる面談	応募を検討している場合は、必ず個別相談（オンライン、またはメールで）をしてください。オンラインでの面談日時は相談の上、決定します。確実に連絡が取れるメールアドレスで「ゼミの個別面談希望」の件名でメールを送って下さい。
		11/13～ 11/17の間		オンラインによる面談	
鈴木　崇文	国際貿易政策	10月24日(火)	13:30 ～ 15:30	本館６階６２４鈴木（崇）研究室	事前にメールでアポを取ること
		10月31日(火)	13:30 ～ 15:30	本館６階６２４鈴木（崇）研究室	
		11月6日(月)	13:30 ～ 15:30	本館６階６２４鈴木（崇）研究室	
鈴木　斉	コンピュータセキュリティ	応相談		本館6F631鈴木研究室	事前にメールでアポを取ること
		応相談		本館6F631鈴木研究室	
		応相談		本館6F631鈴木研究室	
髙井　計吾	マネジメントの実践	随時			事前にメールでアポイントメントを取ってください。 オンライン希望の方はメールでその旨連絡ください。
高橋　史早	マーケティングゼミ	10月24日（火）	17:40 ～ 18:30	本館5階504研究室	
		10月31日（火）	17:40 ～ 18:30	本館5階504研究室	
		11月7日（火）	17:40 ～ 18:30	本館5階504研究室	
津留崎　和義	マネジメントの実践	随時			個別に行います。事前にメールでアポイントを取って下さい。
林　徹	経営学	10月10日(火)	15:00 ～ 19:00	文教中央図書館	これら以外の日程，ZOOMによる相談にも応じます。 連絡してください。 thaya@nagasaki-u.ac.jp
		10月11日(水)	15:00 ～ 18:00	本館６階６２７林研究室	
		10月16日(月)	19:00 ～ 21:00	文教中央図書館	
		10月18日(水)	15:00 ～ 18:00	本館６階６２７林研究室	
		10月25日(水)	15:00 ～ 18:00	本館６階６２７林研究室	
		11月8日(水)	15:00 ～ 18:00	本館６階６２７林研究室	
		11月15日(水)	15:00 ～ 18:00	本館６階６２７林研究室	
林川　万理水	企業情報開示	10月19日(木)	17:40 ～ 18:30	アポを取る時に知らせる	事前にメールでアポを取ること hmiyuki@nagasaki-u.ac.jp
		10月26日(木)	17:40 ～ 18:30	アポを取る時に知らせる	
		11月2日(木)	17:40 ～ 18:30	アポを取る時に知らせる	

原　由紀恵	Linguistics	10月18日(水)	12:30 ～ 14:00	Zoom/本館5階509	Make sure to make an appointment with Yukie HARA in advance at harayukie@nagasaki-u.ac.jp
		11月1日(水)	12:30 ～ 14:00	Zoom/本館5階509	
		11月15日(水)	12:30 ～ 14:00	Zoom/本館5階509	
藤田　泰昌	国際関係論	11月1日（水）	13:30 ～ 14:30	本館６階　藤田研究室	事前にメールでアポを取ること
		11月8日（水）	13:30 ～ 14:30	本館６階　藤田研究室	
辺見　英貴	マネジメントの実践	10月31日（火）	14:30 ～ 16:00	本館6階608辺見研究室	事前にメールでアポを取ること
		11月7日（火）	14:30 ～ 16:00	本館6階608辺見研究室	
丸山　真純	異文化コミュニケーション研究				特に日程を指定しません。事前にメールや授業前後などのアポイントメントにて対応します
南森　茂太	日本経済史研究	応相談	応相談　応相談	本館6階625研究室	希望日、希望時間について複数候補をメールにてお伝えください（shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp）。
		応相談	応相談　応相談	本館6階625研究室	
		応相談	応相談　応相談	本館6階625研究室	
三輪　加奈	開発経済研究	11月6日(月)	12:10 ～ 13:00	本館６階６２３研究室	事前にメールでアポを取ること
		11月10日(金)	12:10 ～ 13:00	本館６階６２３研究室	
		11月13日(月)	12:10 ～ 13:00	本館６階６２３研究室	
森保　洋	計量経済学とデータサイエンス	10月16日(月)	12:00 ～ 13:00	東南アジア研究所313研究室	事前にメールでアポを取ること
		10月23日(月)	12:00 ～ 13:00	東南アジア研究所313研究室	
		10月30日(月)	12:00 ～ 13:00	東南アジア研究所313研究室	
山口　純哉	地域経済論	11月9日(木)	16:00 ～ 21:00	本館3階オープンラボ2	事前にメールでアポを取ること。
吉沢　裕典	ミクロ経済学	10月13日(金)	14:30 ～ 16:00	本館5階510吉沢研究室	・応募に際しては，個別相談の時間などを利用し，内容などに関して事前に必ず説明を受けてから応募すること．事前説明を受けない者は受入不可．事前にメールをもらえれば，個別相談の時間以外も可能な限り対応する．
		10月20日(金)	14:30 ～ 16:00	本館5階510吉沢研究室	
		11月27日(月)	14:30 ～ 16:00	本館5階510吉沢研究室	
林　麗桂	組織行動心理研究	11月10日(金)	18:00 ～ 19:00	本館5階531研究室	原則ゼミ見学後に面談を受け付ける。
		11月17日(金)	18:00 ～ 19:00	本館5階531研究室	
		11月24日(金)	18:00 ～ 19:00	本館5階531研究室	

教員研究室及び演習室配置図

令和5年8月1日現在

〇本　館

6階

複写室	男子トイレ	三輪	鈴木（崇）	南森		林（徹）		階段	EV	木村	鈴木（斉）	
階段	津留崎	加藤（隆）	今仁	桑波田	西村	藤田	丸山（真）	辺見		林川	神薗	式見（雅）

5階

工藤	女子トイレ			髙井	オープンラボ	オープンラボ		階段	EV	丸山（幸）	林（麗）	小野
階段	島田			高橋	職員談話室	井田		徐	原	吉沢	成田	大角

4階

43 演習室	男子トイレ	44演習室	45演習室	46 演習室	情報化 推進室		階段	EV	MS1
階段	41演習室		42演習室	院生（D）研究室			MS3		MS2

3階

メンテナンス ルーム	女子トイレ	オープンラボ		34 演習室	リフレッシュルーム		階段	EV	オープンラボ
階段	オープンラボ		オープンラボ	31 演習室		32 演習室	33演習室		オープンラボ

〇東南アジア研究所

3階

共同研究室4					階段	女子トイレ	男子トイレ			
	森保		井畑			EV				岡田

2階

山口			共同研究室3		階段	女子トイレ	男子トイレ			
式見（拓）		福澤		深浦		EV	宇都宮	白水	松木	宍倉

1階

書　庫	電気室	階段	女子トイレ	男子トイレ	資料室 1	資料室 2
	資料整理室 （事務室）		EV	談話・リフレッシュ コーナー		ファカルティー セミナー室

演習題目及び担当教員一覧（教員名50音順）

演習題目	国際ビジネスプログラム学生受入れ	早期卒業予定者受入れ	職名	教員名	アドレス	内線	研究室	頁
憲法問題の探求	○		教授	井田　洋子	smile@nagasaki-u.ac.jp		本5階	1
競争法（独占禁止法）研究		○	教授	井畑　陽平	ibata@nagasaki-u.ac.jp		東ア3階	3
企業ファイナンス			助教	今仁　裕輔	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		本6階	5
人的資源管理	○	○	准教授	宇都宮　譲	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp	384	東ア2階	7
確率論を中心に数学に慣れ親しむ		○	准教授	大角　道子	ohgaku@nagasaki-u.ac.jp		本5階	9
財務会計論	○	○	教授	岡田　裕正	h-okada@nagasaki-u.ac.jp	352	東ア3階	11
管理会計論			准教授	小野　哲	onotetsu@nagasaki-u.ac.jp	360	本5階	13
租税法研究		○	准教授	加藤　隆宏	takahiro.kato@nagasaki-u.ac.jp	331	本6階	16
経済数学		○	准教授	神薗　健次	k-kamiz@nagasaki-u.ac.jp	377	本6階	18
マネジメントの実践	○		教授	木村　眞実	mkimura@nagasaki-u.ac.jp		本6階	20
経済政策およびマクロ経済分析	○	○	准教授	工藤　健	tkudo@nagasaki-u.ac.jp		本5階	22
国際経済学	○		准教授	桑波田　浩之	kuwahata@nagasaki-u.ac.jp	354	本6階	25
統計学		○	准教授	式見　拓仙	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	27
公共経済研究		○	教授	宍倉　学	shishi@nagasaki-u.ac.jp	396	東ア2階	29
制度会計	○	○	教授	徐　陽	jxuyang@nagasaki-u.ac.jp	373	本5階	31
社会言語学			講師	白水　桂子	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	33
国際貿易政策	○		教授	鈴木　崇文	takafumi.suzuki@nagasaki-u.ac.jp		本6階	35
コンピュータセキュリティ			講師	鈴木　斉	sigh@nagasaki-u.ac.jp	372	本6階	37
マネジメントの実践			助教	髙井　計吾	kegotak@nagasaki-u.ac.jp		本5階	40
マーケティングゼミ		○	助教	高橋　史早	takahashi_f@nagasaki-u.ac.jp		本5階	42
マネジメントの実践			准教授	津留崎 和義	turusaki@nagasaki-u.ac.jp		本6階	44
経営学	○		教授	林　徹	thaya@nagasaki-u.ac.jp	368	本6階	46
企業情報開示	○		准教授	林川　万理水	hmiyuki@nagasaki-u.ac.jp	386	本6階	48
Linguistics	○		助教	原　由紀恵	harayukie@nagasaki-u.ac.jp		本5階	50
国際関係論	○		准教授	藤田　泰昌	fujitatf@nagasaki-u.ac.jp		本6階	53
マネジメントの実践			助教	辺見　英貴	hidetaka.hemmi@nagasaki-u.ac.jp		本6階	55
異文化コミュニケーション研究	○		准教授	丸山　真純	masazumi@nagasaki-u.ac.jp		本6階	57
日本経済史研究			准教授	南森　茂太	shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp		本6階	59
開発経済研究	○	○	教授	三輪　加奈	k-miwa@nagasaki-u.ac.jp		本6階	61
計量経済学とデータサイエンス			教授	森保　洋	moriyasu@nagasaki-u.ac.jp		東ア3階	63
地域経済論			准教授	山口　純哉	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	65
ミクロ経済学		○	准教授	吉沢　裕典	yoshizawa@nagasaki-u.ac.jp		本5階	67
組織行動心理研究		○	助教	林　麗桂	linty1210@nagasaki-u.ac.jp		本5階	70

〈注〉研究室欄　本：本館　東ア：東南アジア研究所　研究室は、本冊子末尾の配置図を参照のこと。

※電話をかけるときは、各教員の内線番号の前に「095-820-6」をつける。

※携帯電話からメールを送信する場合は受信拒否設定を解除しておくこと。

　教員からの返答が滞る場合は、必ず確認をとること。

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000701	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	井田　洋子／Ida Yoko		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	井田　洋子／Ida Yoko		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	井田　洋子／Ida Yoko		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Eメールアドレス：smile@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階506研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的には、木曜日の３限とする。左記の時間帯を含め、質問等で面談を求める場合は、まずメールにて要請を行うこと。 Eメールアドレス：smile@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	※以下の内容を記入ください。 演習題目：憲法問題の探究―比較法的手法を用いながら― 【内容と方法】 内容：世界各国の憲法の規定内容や憲法理念をめぐる具体的問題を比較法的に考察する作業を通して、国の根本規範である憲法の存在意義ならびに日本国憲法における普遍的な価値と独自の価値について改めて確認する。加えて、受講生が、憲法と自身の生活との密接な繋がりを認識し、憲法理念を活かすという作業の重要性に気づくことを目指す。 方法：（専門ゼミ）ゼミ生が主体となって研究・発表・議論を行うものとする。具体的な演習の進め方については、最初の時間にゼミ生と相談して決定する。 （卒研ゼミ）各自、自らが選択したテーマに即した研究方法を用いて研究を行い、その成果を卒論という形で発表する。		
授業到達目標/Course goals	専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけることができる。 ●自身の意見とは異なる意見の存在を肯定できる。 ●異なる価値観を持つ者と意見交換をすることができ、また互いに刺激を与え合うことができる。 ●自身の考えを論理的に文章で著すことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度（20%）、授業への取組み・貢献度（25%）、研究報告内容（レジュメ及びパワーポイントの作成を含む）並びにディスカッションの内容（55%）の総合評価とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：自身が担当しない研究報告のテーマと関連する国内外ニュース記事等をチェックする。(2h) 事後学習：研究報告とディスカッションをふまえ、それに関係するさらなる文献等に目を通した上でレポートを作成する。(2h)
キーワード/Keywords	立憲主義・民主主義・国民主権・基本的人権の保障・平和主義
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特にしてせず、研究テーマごとにその都度推薦することとする。 【参考文献】 初宿正典・辻村みよ子編『新解説世界憲法集第4版』三省堂 高橋和之編『新版　世界憲法集』岩波書店
受講要件（履修条件）/Prerequisites	※以下の内容を記入ください 受け入れコース：全コース 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	日本だけでなく国際社会の動向に関心・興味を持つ学生、また、英語で書かれた文献を読むことを厭わない学生を望む。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介及び研究テーマ、方法についての協議。
第2回	研究テーマ（複数）の決定及び優先順位の確定、グループ分け。
第3回	グループ単位の作業。または担当教員による講義。
第4回	グループごとのプレゼンテーション及び全体での討論。
第5回	前回の討論を受けてさらなる研究テーマの設定。グループ再編成の可能性あり。
第6回	グループ単位の作業。
第7回	グループごとのプレゼンテーション及び全体での討論。第１テーマについての総括。
第8回	新しいテーマへの移行。グループ再編成あるいは個人による作業。
第9回	グループまたは個人単位の作業。あるいは担当教員による講義。
第10回	グループまたは個人単位の作業。
第11回	グループまたは個人単位での発表及び全体討論
第12回	同上。上記を受けてのテーマの拡大。研究内容の分担。グループまたは個人単位の作業。
第13回	グループまたは個人単位での作業。教員による補足説明等。
第14回	グループ及び個人による発表及び討論。
第15回	同上。テーマの総括。
第16回	全体の総括。及び教員による卒論作成に向けての説明。

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000702	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	井畑　陽平		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	井畑　陽平		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	井畑　陽平		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ibata▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後に適宜対応する時間を設ける予定です。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：競争法（独占禁止法）研究 課題テーマ：GAFAなどデジタルプラットフォームに経済力が集中している現状は独禁法に違反しないのか、iPhoneにアプリをインストールしようとしたら、App Storeを使うしかないのは独占なのか（私的独占）、コンビニの24時間営業モデルは独禁法に違反するのか（優越的地位の濫用）、オリンピック開催をめぐりイベント企画会社が開催種目を割り振るのは談合なのか（不当な取引制限規制）など、近時の独占禁止法に関係する重要なテーマについて、法学・経済学両面から理解を深める。 内容と方法：文献の概要報告、概要報告を踏まえた議論、ディベート、卒業論文で取り上げるテーマに関する研究発表を行うことで進める。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	演習における課題の報告（５０％）、他の学生の報告に関する積極的なコメント・発言（２０％）、演習の運営に対する積極的な貢献（３０％）に基づき、総合的に評価する。 なお、「演習の運営に対する積極的な貢献」には、メール等により、教員と円滑なコミュニケーションを取ることが出来るかどうかが含まれる。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（事前学習）毎回、協議の上担当者を決め、課題について報告するので、課題に関係する文献の読み込みや演習で発表することに向けた準備をするよう求められる。（3h） （事後学習）報告後、教員や他の学生から受けたコメントを踏まえてさらに改善することが求められる。（1h）
キーワード/Keywords	独占禁止法、競争法、法と経済学、法の適用や解釈
教科書・教材・参考書/Materials	詳細は、演習時に、適宜、紹介・説明する。例として、以下のものを考えている。ただし、決定したわけではない。 【経済学指向のテキスト】 大橋 弘『競争政策の経済学』日本経済新聞出版 小田切宏之『産業組織論―理論・戦略・政策を学ぶ』有斐閣 伊藤元重『ビジネス・エコノミクス〔第2版〕』日本経済新聞社 【法学指向のテキスト】 ・デビッド ガーバー（白石忠志訳）『競争法ガイド』東京大学出版会 ・長澤哲也『独禁法務の実践知』有斐閣 ・土田和博ほか『条文から学ぶ独占禁止法〔第2版〕』有斐閣 ・菅久修一（編）『独占禁止法〔第4版〕』商事法務 ・泉水文雄ほか『経済法判例百選〔第２版〕』有斐閣 https://www.courts.go.jp/saikosai/index.html　最高裁判所 https://www.jftc.go.jp/　公正取引委員会 たまには、このようなサイトをご覧になるのもよいかもしれません。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：法学概論については履修済みであることが、独占禁止法Ⅰ及び独占禁止法Ⅱについては履修済み又は今後履修予定であることが望ましい。 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：可 その他必要な要件：演習については、メールを用いた連絡をする機会があるので、こまめにメールをチェックし対応出来る学生を優先して受け入れる。
アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	"長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp"
備考（URL）/Remarks（URL)	本ゼミは、対面方式で実施します（2023年9月5日時点での予定）。
学生へのメッセージ/Message for students	・ゼミの面接にあたっては、志望動機の提出を求めているので、要件を確認して遺漏のないように対応すること。 ・時間と労力を惜しまず、企業の競争に関わる法と経済・社会問題について考えを深めたい、学びたい、という姿勢の学生を歓迎する。 ・演習は月曜日開講を予定している。演習が定刻通りに終了するかどうか事前には分からないことから、演習後の時間帯について、都合を付けて比較的調整出来る学生を優先して受け入れる。 ・以前に勤務していた大学では、他大学の独禁法ゼミ（中央大学、立教大学等）と勉強・交流合宿をおこなっていたこともある。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y / JICA・公正取引委員会共催の途上国向け競争当局職員研修において独禁法を教授
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第１回から第３０回	輪読、研究報告、ディスカッション（詳細な計画については、LACS等を用いて、随時配付する資料により説明する）

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000703	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	今仁　裕輔／IMANI Yusuke		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	今仁　裕輔／IMANI Yusuke		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	今仁　裕輔／IMANI Yusuke		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本館6階603号室		
担当教員TEL/Tel	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：企業ファイナンス 課題テーマ：企業の資金調達及びその使い道の基礎的な理論について学ぶ。 またその理論を検証するための実証分析手法について学ぶ。 内容と方法：企業金融に関するテキスト、計量経済学に関するテキストを輪読する。また実証分析に必要なプログラミング、文献レビューの方法についても学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のグループディスカッションの参加度(60%)，担当プレゼンテーション資料や毎回の要約資料等提出資料の質(40%)		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)次回のテキスト範囲の要約資料作成。プレゼン担当であればスライド資料作成。その他練習問題等の課題。(2h) (復習)グループディスカッションで議論した内容の整理。(1h)		
キーワード/Keywords	資金調達/資本構成/フリーキャッシュフロー/平均分散アプローチ/CAPM/コーポレートガバナンス/情報の非対称性/最小二乗法		
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト候補は以下の通りです（未確定)。 新井・高橋・芹田「コーポレート・ファイナンス 基礎と応用」 中央経済社 鹿野繁樹 「新しい計量経済学 データで因果関係に迫る」 日本評論社		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：ミクロ経済学、計量経済学、金融論に関連する講義を多く履修しているほど望ましい。必要に応じて追加で受けてもらう予定です。 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	毎回の講義は、各受講生が事前に読んできたテキストの内容や、解いてきた練習問題に関するグループディスカッションが中心になります。グループディスカッションに抵抗感がないことが望ましいです。 またデータ分析を行うため、プログラミング言語(基本的にR)を各自で勉強してもらいます。プログラミングに抵抗感がないことが望ましいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回-第15回	毎回：企業金融に関するテキストor計量経済学に関するテキストの輪読,ディスカッション
第16回-第30回	毎回：計量経済学orプログラミングに関するテキストの輪読,ディスカッション

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000704	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	宇都宮　譲／Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	宇都宮　譲／Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	宇都宮　譲／Utunomiya Yuzuru		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	+81958206384		
担当教員オフィスアワー/Office hours	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	※以下の内容を記入ください。 演習題目：人的資源管理 課題テーマ：あなたとわたしの人的資源管理 内容と方法： 1．教科書購読: 教科書を読みます。字が細かいし分厚いし読めなさそうにみえますが、読めます。論文をたくさん読むのとはまた異なる自信がつきます。 2．　その他いろいろ：懸賞論文に応募します。卒業論文はもちろん執筆します。		
授業到達目標/Course goals	宇都宮ゼミナールは、以下を目指します。 1．人的資源管理に関する学説を学ぶこと：人的資源管理とは、経営資源としての労働力をどう取り扱うかに関する領域です。採用や教育訓練、賃金、その他色々様々な領域を内包します。いくつか主要な学説や法令がありますから、まずはこれを学びます。 2．概念と現象を一対一対応させながら学ぶことができること：科学が取り扱う概念には、必ずもとになった現象が付帯します。これらが一対一対応することで、よりよく理解できるようになるでしょう。工場見学はこのために実施します。 3．関連する手法を獲得すること：文書作成やデータ整理、統計解析など、必要な技術はたくさんあります。Microsoft OfficeだけでなくRという統計解析環境も使います。報告書や論文執筆過程で自然に身につくようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	文献輪読資料：40% 懸賞論文（3年）ないし卒業論文（4年）：60%
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	特にありません
キーワード/Keywords	人的資源管理;　R;　工場
教科書・教材・参考書/Materials	Paul Banfield, Rebecca Kay, and Dean Royles. 2018. Introduction to Human Resource Management (3rd. Ed.). OUP Press. isbn: 9780198702825
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：可 経済学部が開講する科目「統計学」において、AAないしAにて単位修得していること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/staff/yuzuru/seminar/introduction_to_yuzurulab.html 本科目は対面にて開講します。
学生へのメッセージ/Message for students	つづきはWebで。くわしい宇都宮研究室案内です。 http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/staff/yuzuru/seminar/introduction_to_yuzurulab.html
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
	（例）研究報告とディスカッション

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000705	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大角　道子／Ogaku Michiko		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	大角　道子／Ogaku Michiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	大角　道子／Ogaku Michiko		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohgakuのあとに教員に共通のDomain名をつける.		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階512番研究室		
担当教員TEL/Tel	必要に応じて連絡します.		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開校時に連絡します.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：確率論を中心に数学に慣れ親しみむ 課題テーマ：経済学に応用できる数学の専門書を読む 内容と方法：教科書を精読し，講義形式で他者に教えることを通じて理解を確かめながら，類似の専門書を解く基礎を養う.		
授業到達目標/Course goals	※経済学部のディプロマ・ポリシー （DP-3）自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 （DP-4）現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。 以上を踏まえて記載ください。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義形式の口頭発表(80%)および他者との共働(20%)で評価します．やむを得ない理由のある欠席を認めますが，無断欠席はしないでください.		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 教科書を読み，次の講義での発表準備を行う．(2時間程度) 事後学習: 口頭発表に対するフィードバックを受けてノートを書き直す．(2時間程度)		
キーワード/Keywords	確率論，数学		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の選定について話し合う機会を設けます. 参考として、以前に教科書として利用した書籍を挙げます. ブーフマン『暗号理論入門 原著第3版』丸善出版 2012. 高橋幸雄『基礎数理講座 2 確率論』朝倉書店 2008.		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：経済数学 その他必要な要件：面接試験に合格すること 国際ビジネスプログラム参加学生の受け入れ不可，早期卒業予定者の受け入れ可		

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	ゼミは対面形式で行います．過半数に満たない回数の範囲内でリアルタイムオンラインで行うことがあります．
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に経済学に応用できる数学の専門書を読みましょう．
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1から15回	教科書を精読して講義形式で口頭発表

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000706	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	岡田　裕正／Hiromasa Okada		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	岡田　裕正／Hiromasa Okada		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	岡田　裕正／Hiromasa Okada		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-okada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所3階		
担当教員TEL/Tel	内線　352		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの前後の時間を原則とするが、具体的には、開講時に連絡する。また、上記Ｅメールでも受け付けるが、件名を必ず記載すること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：財務会計 課題テーマ：財務会計の基礎 内容と方法：3年前期は財務会計の全般的知識の修得にあて、後期は、収益（売上）認識に関する文献を用いが研究に充てたいと考えている。 具体的な方法は、使用するテキストの各章について、毎回報告担当者が担当部分の内容を20分程度で報告し、その内容について全員で検討する。ゼミでは、毎回、報告者以外の参加者にも自分の考えや感想を述べることを求める。これを通じて基礎知識の定着を図るとともに、プレゼンやスライド作成の技術の習得の場としたい。 ゼミは2時間程度かかることもあるので、注意すること。 4年次では、各自が設定したテーマに即して、卒業論文の進捗状況の報告及び作成する。 ゼミは対面を原則とするが、コロナの状況等に応じて、リアルタイムオンラインに変更することもある。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」に記載のカリキュラムマップを見てください。 専門ゼミは、つぎのDPと関係する。 DP-3　自分考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4　現代社会課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゼミの課題・テーマに対する取り組み方，主体的・積極的なゼミへの参加，報告やプレゼンテーションなどを基本として成績評価を行う。 前期の目的である基礎的な知識の習得については、夏休みの課題で評価する（40%）。 後期の知識の定着や解決策を考える力については、最終的に提出するレポートで評価する（40%）。 プレゼンや討論への参加状況などについてはルーブリックに基づいて評価する（20%） これらの合計60%以上を合格とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	前期 【準備学習】毎回、該当する教科書や参考書の箇所を読むとともに、理解できない点を明確にし、積極的に授業で質問できるようにすること(2h)。 【復習】ゼミの内容に関する自分のノート（もしくはWordファイル）を作成し、用語のまとめや不明な点を参考書等から疑問点を無くすようにすること(2h)。 また、夏休みに課題を課すので、各自で知識の正確な理解に努めること。 後期 【準備学習】あらかじめ決定したテーマに関するレポートを作成するために、次回までに分担されたことを調べ、まとめること（2h）。 【復習】ゼミの中での討論を通じて、不明な点をさらに調べるなどすること（2h）。 3年時終了時点で、各自またはグループで作成したレポートの提出を求める。なおこのレポートは、卒論の準備として利用することも可能なので、それを意識して課題に取り組むこと。
キーワード/Keywords	財務会計、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュフロー計算書）、資産（棚卸資産、固定資産、繰延資産、金融資産）、負債（社債、引当金）、純資産（株主資本、剰余金の配当、評価換算差額等、自己株式）、費用、収益、各種の利益の意味等
教科書・教材・参考書/Materials	前期は、以下のテキストを利用する。 　　田中建二著『財務会計入門』（第6版）中央経済社 後期は、現在、私が入っているスタディグループが計画している書籍を利用したいと考えている。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：希望者多い場合は、経営と会計コースを中心に選考する あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：簿記および財務会計（簿記3級程度の知識を持っていること。2年次に財務会計論の単位を修得していない場合は、3年次または4年次に必ず受講してもらうので、卒業要件とも関連させて注意すること） 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	状況によって変わる可能性はあるが、ゼミは対面で実施する。 会計に関する専門知識を得ることができるサイトはいろいろとある。いかに示すものは主なものである。 財務会計基準委員会（ASBJ）：https://www.asb.or.jp/jp/ 国際会計基準審議会（IASB）：https://www.ifrs.org/ 日本公認会計士協会（JICPA）：https://jicpa.or.jp/ このほか監査法人や税理士法人のホームページも参考になるものが多いので、各自で探してもらいたい
学生へのメッセージ/Message for students	・面接にあたり、ゼミの志望動機を400字以上にまとめて持ってくること。 ・毎回のゼミには、十分に予習した上で積極的な態度で臨むこと。 ・資格試験対策のゼミではないので注意すること。 ・教職課程の履修者は、開講曜日に注意すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回～第15回	テキストに基づく内容の報告と討論
第16回～第30回	収益（売上）認識に関する文に基づく報告と討論、レポートの作成

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000707	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	小野　哲／Ono Tetu		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	小野　哲／Ono Tetu		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	小野　哲／Ono Tetu		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onotetsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本館5階532研究室		
担当教員TEL/Tel	095ー820ー6360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミ開講日の昼休みもしくはメールにて随時対応します。 対面授業の実施が難しい場合は、リアルタイムオンラインの授業となります。この場合基本的にはメールにて随時対応しますが、状況に応じてリアルタイムでのやり取りなども併用することにします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：管理会計論 課題テーマ：管理会計の基礎を学ぶ 内容と方法：管理会計は、英語でManagement Accountingといいます。MANAGEMENTがついている理由は、管理会計が経営者や管理者のための学問だからです。したがって、管理会計は経営者や管理者が果たさなければならない戦略の策定・実行、業績評価（管理）、（経営）意思決定に対して有用な情報提供し、それらをサポートする役割を持っています。本ゼミナールでは図表や事例が多く記載されたテキストを使用して管理会計の基礎を学ぶことを目的としており、授業では毎回報告者を決め、報告者が担当箇所についてレジメ（担当箇所の説明用の要約版）やスライドなどを作成し、報告者によるプレゼン、報告者と他の学生及び教員との間でディスカッションを行うという輪読が行われます。 なお、対面授業が困難な場合は、先に述べてあるようにリアルタイムオンライン形式の授業となります。		
授業到達目標/Course goals	専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 自分の考えについて，わかりやすく伝え、討論することができる（DP-3）。 現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている（DP４）。 詳細については、経済学部HP「受講の手引き（学部）」にある「カリキュラム・マップ」を参照してください。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生が作成するレジメやスライド60点＋授業への参加態度（ルーブリックを用いて評価する）40点＝100点のうち60点以上を合格とします。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】テキストの該当範囲について事前に読んでおくこと（2h）。 【復習】授業内容およびレジメや配布資料をもとに復習すること（2h）。
キーワード/Keywords	業績評価（管理）会計　意思決定会計　戦略的管理会計
教科書・教材・参考書/Materials	ワシントン大学フォスタービジネススクール管理会計研究会訳『【原著７版】管理会計のエッセンス』同文舘出版
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れ可能コース：すべて可 あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：簿記（単位を取得済みであること）　経営学関連の授業と原価計算論Ⅰ・Ⅱ（履修していること） 国際ビジネスプログラムの受け入れ：否 早期卒業の受け入れ：否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は基本的に対面で実施しますが、状況に応じてリアルタイムオンラインも利用しますので、ハイブリッド型での実施となります。 また下記の牧誠財団のHPで、管理会計に関する図書などが検索できます。 http://melco-foundation.jp/learn/library/
学生へのメッセージ/Message for students	管理会計は経営者や管理者を支援するものですから、管理会計がサポートすべき問題の解決が優先されるため経営学等の近接学問の知見を積極的に取り入れて発展してきました。そのような経緯を背景として一冊のテキストが出来上がっており、その内容は簿記の延長線上とはかけ離れたもの（もちろん内容の理解のためには前提として簿記の知識は必要ですが･･･）になっています。したがって原価計算情報などをベースにした計数的な経営管理に興味のある学生向きのゼミで、簿記の延長線上的な内容や税理士試験（公認会計士試験の受験科目ではありますが・・・）の受験などには関連がないことを付記しておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	授業ガイダンス	F
第2回	研究報告とディスカッションー情報化時代の管理会計①ー	A B
第３回	研究報告とディスカッションー情報化時代の管理会計②ー	A B
第４回	研究報告とディスカッションー情報化時代の管理会計③ー	A B
第５回	研究報告とディスカッションーＣＶＰ分析①―	A B
第６回	研究報告とディスカッションーＣＶＰ分析②―	A B
第７回	研究報告とディスカッションーＣＶＰ分析③―	A B
第８回	研究報告とディスカッションーＣＶＰ分析④―	A B
第９回	研究報告とディスカッションー原価配賦と活動基準原価計算①ー	A B
第10回	研究報告とディスカッションー原価配賦と活動基準原価計算②ー	A B
第11回	研究報告とディスカッションー原価配賦と活動基準原価計算③ー	A B

第12回	研究報告とディスカッションー経営意思決定における原価情報の利用①ー	A B
第13回	研究報告とディスカッションー経営意思決定における原価情報の利用②ー	A B
第14回	研究報告とディスカッションー経営意思決定における原価情報の利用③ー	A B
第15回	研究報告とディスカッションー経営意思決定における原価情報の利用④ー	A B
第16回	研究報告とディスカッションー価格決定、顧客収益性分析、活動基準価格決定①ー	A B
第17回	研究報告とディスカッションー価格決定、顧客収益性分析、活動基準価格決定②ー	A B
第18回	研究報告とディスカッションー価格決定、顧客収益性分析、活動基準価格決定③ー	A B
第19回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定①ー	A B
第20回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定②ー	A B
第21回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定③ー	A B
第22回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定④ー	A B
第23回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定⑤ー	A B
第24回	研究報告とディスカッションー分権化と業績評価①—	A B
第25回	研究報告とディスカッションー分権化と業績評価②—	A B
第26回	研究報告とディスカッションー分権化と業績評価③—	A B
第27回	研究報告とディスカッションー分権化と業績評価④—	A B
第28回	研究報告とディスカッションー分権化と業績評価⑤—	A B
第29回	研究報告とディスカッションー予算編成と予算管理①ー	A B
第30回	研究報告とディスカッションー予算編成と予算管理②ー	A B

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000708	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	加藤　隆宏／KATO Takahiro		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	加藤　隆宏／KATO Takahiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	加藤　隆宏／KATO Takahiro		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	３年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生（租税法の知識の有無は問わない）		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahiro.kato▲nagasaki-u.ac.jp （メール送信時は▲を@に変更してください。）		
担当教員研究室/Office	本館（学務係が1階にある棟）6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ（オンラインでも可能です）。ただし、メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：租税法 課題テーマ：租税に関連する分野についての研究 内容と方法：租税に関連する分野は、租税法のみならず、会計・税務のIT化、税務行政の運営など、広範に渡るものである。本演習においては、租税についてのグループ討論や質問などを通じて基礎的な事項を学習した上で、各々が興味を持っている租税に関連する分野について、レポートを作成する。なお、本演習におけるトータルの時間としては、前者及び後者でおよそ半分ずつとする予定。 なお、授業は原則として対面で実施。		
授業到達目標/Course goals	（１）租税に関連する分野に自ら興味を持ち、自分の意見や考えを発言したり、不明な点を質問したりすることで、自分の能力向上や知識の習得を図る。 （２）討論の資料の準備や論文の作成を通じてグループで協力することにより、協調性を身につける。 なお、授業到達目標について、DPとの関連では以下のとおり。 DP3:自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 DP4:現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・演習における課題の報告内容（３０％） ・演習で作成したプレゼン資料やレポートの内容（３０％） ・演習における積極的なコメント・質問（３０％） ※　仮に間違ったコメント等であっても評価を下げることはしない。 ※　他の学生に対するアドバイスも積極的に評価。 ・その他（演習の運営に対する積極的な貢献など）（１０％）		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前及び事後】 グループ討論の資料やレポートの作成に当たり、事前の準備や事後の対応が必要となる場合が多い。具体的には、各演習における検討課題への対応、レポートの作成・提出やグループ討論資料であるパワポ資料の作成など。（週2h）
キーワード/Keywords	租税法、国際課税、IT、マイナンバー、税務行政
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】租税法入門 第2版（有斐閣、増井良啓著） 【参考書】新版　論文の教室（NHK出版、戸山田和久著）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：特になし（租税法の知識の有無は問わない） 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	原則として、授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	租税は日常生活の中、色々なところで接するものであり、多くの人々にとって重要なものです。その一方で、租税法は法令の中でも難解であり、理解しにくいものと言われています。この演習では、租税の基本的な仕組みや租税法の基本的な解釈について学び、租税や租税法の理解を深めます。その上で、国際課税や税務行政のIT化など、現在進行中の課題についても取り扱います。学生のみなさんが、租税に関する様々な事柄について、自分自身で検討し、自分なりの考えを持てるように、一緒に取り組んでいきたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	加藤　隆宏／税務行政／税務、租税手続き、租税法の企画・立案（税制改正）、国際課税などに携わった経験を活かし、演習を進めます。
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
初回～最終回	・租税関連分野におけるグループ討論やそのための準備を行う ・学生の興味のある分野（租税関連）のレポート作成 ・原則として、授業は対面で実施する

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000709	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	神薗　健次／Kamizono Kenji		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	神薗　健次／Kamizono Kenji		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	神薗　健次／Kamizono Kenji		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-kamiz@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階611番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6377		
担当教員オフィスアワー/Office hours	個別対応．事前にメールで日時を予約すること．		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：経済数学 課題テーマ：経済学における数学的手法を身に着ける． 内容と方法：毎回のゼミでは，担当ゼミ生が，その日に取り扱う内容について教科書に沿って解説を行い，出席者全員で疑問点を出し合いながら討論することによって，基礎理論を習得する．また，教科書の練習問題に取り組むことによって，基礎理論に対する理解を深めるとともに，応用力を養う．卒業論文では，最先端の経済学で使われている数学的手法についての調査・研究を行う．		
授業到達目標/Course goals	経済学部HP「受講手引き（学部）」にある「カリキュラム・マップ」を見てください．専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています． DP3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる． DP4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分 析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている．		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度，授業への取り組み(100%)．		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習課題としてテキストの精読を求めます．(各2h)		
キーワード/Keywords	微積分，線形代数，最適化問題		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：A.C.チャン，K.ウエインライト著 ; 小田正雄 [ほか] 訳『現代経済学の数学基礎（上・下）』彩流社 2020年		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：可		

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます．授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい． アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業は対面形式で実施しますが，状況によって変更する場合もあります．
学生へのメッセージ/Message for students	ゼミでの討論に積極的に参加すること．
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1～30回	研究報告とディスカッション

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000710	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	木村　眞実／KIMURA mami		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	木村　眞実／KIMURA mami		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	木村　眞実／KIMURA mami		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mkimura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階630		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜12:00～12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：マネジメントの実践 課題テーマ：実践体験型PBLによるマネジメント実践力、社会人基礎力の養成 内容と方法：4名程度からなるチームを編成し、各チームが　1つのプ　ロジ　ェクトを担当する。プ　ロジ　ェクトを進捗させていく過程において、適切な課題設定や背景理解、課題解決策の模索、提案、および　その実施から検証まで　を主たる活動内容とし、そこで　必要な学習を自発的に行う。活動をチーム自らが　計画、実行することで　、マネジ　メント実践力やプ　ロジ　ェクト遂行力、デ　ザ　イン思考力を養うのに加え、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで　働く力といった社会人基礎力を訓練する。		
授業到達目標/Course goals	DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み（60%）、研究発表（40%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（予習）次回のゼミ活動内容をふまえての個人学習（2h） （復習）ゼミ活動内容の振り返りと自身の態度や姿勢の振り返り（2h）		
キーワード/Keywords	PBL教育、協同学習、産学連携、マネジメント、イノベーション		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜提示する		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：ビジネス実践力育成プログラムの履修生を優先採用する。「プロジェクト・リテラシー」「ビジネス・リサーチ」科目の内容は既知とする。 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。また学研災付帯賠償責任保険（Aコース）の加入を義務付ける。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp"
備考（URL）/Remarks (URL)	すべて対面形式にて実施
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回～30回	プロジェクトに対しての調査、計画、実施、発表など

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000711	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	工藤　健／Kudo Takeshi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	工藤　健／Kudo Takeshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	工藤　健／Kudo Takeshi		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkudo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部（片淵キャンパス）本館5階521研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	未定（開講時に連絡する） E-mailおよびLACS科目掲示板やメッセージでも質問を適宜受付。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：経済政策およびマクロ経済分析 課題テーマ：経済政策（金融政策・財政政策と周辺分野）およびマクロ経済に関する分析 内容と方法： ・目的：経済政策の効果を理論とデータに基づき分析できるようになること。 ・専門的分析能力の修得： (1)専門書または学術論文の輪読を通じ，学術的な政策分析に関する理解を深めます。 (2)データ分析演習を通じて，情報収集やデータ分析能力を身につけます。 (3)グループまたは個人研究に基づきレポートを作成し，学内外で発表してもらいます。		
授業到達目標/Course goals	(1)基本的なマクロ経済分析やデータ分析の方法を身につけている。 (2)予習内容に基づいて小グループで議論を行い，考えを共有できる。 (3)経済分析に基づく研究成果をまとめて論文を執筆し，公表できる。 ※以上は次の経済学部のディプロマ・ポリシーに対応する。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	論文輪読・データ分析（議論・報告内容，提出物など）60%， グループまたは個人研究（論文内容，報告会プレゼン，貢献度）40%		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・事前学習：テキストや事前に配付された資料を用いて所定の様式に基づく「予習ノート」を作成します。（2時間） ・事後学習：学習の成果や課題，プロジェクトの進行状況をLACSにアップロードしてもらいます。（2時間）		

キーワード/Keywords	金融政策，財政政策，マクロ経済分析，マクロ経済統計，データ分析
教科書・教材・参考書/Materials	＜研究論文の輪読＞ 主な資料として，学部中上級レベルのマクロ経済学関連テキストや『経済セミナー』，Journal of Economic Literatureなどの学術雑誌の記事を扱う予定。詳細は授業開始前に指示する。 ＜データ分析演習＞ 久保克行（2021)『経営学のための統計学・データ分析』東洋経済新報社（ISBN: 978-4492503294)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：マクロ経済学I，ミクロ経済学I，統計学 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが，状況によって変更する場合もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	質問は，オフィスアワー（対面またはオンライン）や，電子メールで受け付けます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
	ガイダンスとイントロダクション
	データ分析演習（事前資料：久保(2021)第7-8章），グループ研究ミーティング
	図書館ガイダンス（事前資料：久保(2021)第9章）
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習（事前資料：久保(2021)第2章），グループ研究ミーティング
	データ分析演習（事前資料：久保(2021)第3章），グループ研究ミーティング
	グループ研究テーマ報告
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習（事前資料：久保(2021)第3章），グループ研究ミーティング
	データ分析演習（事前資料：久保(2021)第4-5章），グループ研究ミーティング
	データ分析演習（事前資料：久保(2021)第6章），グループ研究ミーティング
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習（事前資料：久保(2021)第10章），グループ研究ミーティング
	データ分析演習（事前資料：久保(2021)第11章），グループ研究ミーティング
	グループ研究中間報告
	データ分析演習（事前資料：久保(2021)第12章），グループ研究ミーティング
	グループ研究ミーティング
	グループ研究中間報告
	研究論文の輪読と討論
	グループ研究ミーティング
	グループ研究ミーティング
	グループ研究ミーティング
	グループ研究最終報告
	データ分析演習（久保(2021)第13章）
	研究論文の輪読と討論
	卒業研究テーマ探索
	卒業研究テーマ探索

	卒業研究テーマ探索
	卒業研究テーマ報告会
	卒業研究テーマ報告会

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000712	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	桑波田　浩之／KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	桑波田　浩之／KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	桑波田　浩之／KUWAHATA Hiroyuki		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwahata[at]nagasaki-u.ac.jp ＊[at]を@にかえて下さい		
担当教員研究室/Office	経済学部本館604研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6354		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜1・2校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：国際経済学 / 国際貿易論 課題テーマ：グローバリゼーションと日本・地域経済の課題 内容と方法：急速に進むグローバル化の中で、日本や地域経済が直面している諸課題を理解・考察するために、中級レベルの国際経済学を学びます。国際経済学のテキストを輪読し、指導教員とのインタラクティブなやり取りを通じて、国際経済及び、日本経済に関する理解を深めます。ゼミ内で学んだ事項を基礎として、弘前大学の小谷田ゼミと地域課題の解決をテーマとしたインターゼミ(オンライン)を行います。また、長崎港・税関の見学、日本経済新聞社が主催する円ドルダービーにも参加します。卒業研究では、経済学の基本的な考え方に基づいて、データを用い、各自、興味を持ったテーマで、統計分析を含んだ論文を作成します。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の内容や質疑応答、グループワークへの積極的な参加など、ゼミナールへの取り組み状況を総合的に判断して評価を付けます。(計100点)		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】 輪読における各回の担当箇所を事前に読み、理解できない点を明らかにしてゼミナールにのぞんで下さい。当日は疑問点を担当者に質問して下さい。(2h) 【復習】 教科書を再読するとともに興味・関心のある事項については、他の文献を参照して下さい。(2h)		
キーワード/Keywords	国際収支、輸出入、比較優位、規模の経済、海外直接投資、海外アウトソーシング、貿易政策		

教科書・教材・参考書/Materials	(教科書) クルーグマン・オブズフェルド・メリッツ　『クルーグマン国際経済学　理論と政策 第10版』 2017年 丸善出版 山本勲 『実証分析のための計量経済学』 2015年 中央経済社 (参考書) 石川城太・椋寛・菊池徹 『国際経済学をつかむ 第2版』 2013年 有斐閣 若杉隆平 『国際経済学　第3版』　2011年 岩波書店 藤田昌久・クルーグマン・ベナブルズ　『空間経済学』 2000年　東洋経済新報社
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：「ミクロ経済学Ｉ」、「統計学」の履修を推奨します。 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則、全て対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	今年が2期目のゼミです。ゼミ生の意見・意向を聞き入れて、新しい活動に取り組めたらと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回～第30回	テキストの輪読・ディスカッション・グループワーク・研究報告

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000713	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	式見　拓仙／Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	式見　拓仙／Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	式見　拓仙／Shikimi Takuhisa		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階214番研究室		
担当教員TEL/Tel	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：統計学 課題テーマ：確率論・統計的推測の基礎を習得することを目的とします。また、それらの習得を通じて、わからな いことを一つ一つ克服していく力を身につけます。 内容と方法：統計学の入門・中級レベルのテキストを輪読します。毎回、発表者がテキストの指定範囲を説明し、 それをもとに参加者が議論します。また，テキストの練習問題に取り組むこともあります。 なお，ゼミは対面式で実施する。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HP の「受講の手引き（学部）」にある「カリキュラム・マップ」を見てください. 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています. DP3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる. DP4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	十分に発表の準備をしているかどうか，発表の態度，理解の程度，出席率をもとに判定します。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：ゼミ参加者は指定された学習範囲を学習し，理解しておく．さらに不明な点を明確にしておく（２ｈ）. 復習：理解の定着を図るために，該当範囲の練習問題を解く（２ｈ）.		
キーワード/Keywords	確率，確率変数、確率分布、期待値、標準偏差、2変数確率分布、標本分布，相関，回帰，推定、検定		

教科書・教材・参考書/Materials	宮川公男『基本統計学（第5版）』有斐閣 この本は「統計学」の授業で採用した教科書と同じであるが，時間の都合上または少し高度であるため授業で講義できなかった内容も多い．それらを含めて最初から丁寧に教科書を読み進める予定である．数学の予備知識としては，数列の収束，指数関数，微分，べき級数展開，（広義）積分を必要とする．
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：「統計学」「経済数学入門」「経済数学」の単位を取得しておくこと． 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	対面で実施する．
学生へのメッセージ/Message for students	わからない点があっても，粘り強く考え続けてください．
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1ー30回	発表とディスカッション なおゼミは全て対面で実施する．

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000714	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	宍倉　学／Shishikura Manabu		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	宍倉　学／Shishikura Manabu		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	宍倉　学／Shishikura Manabu		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所206号		
担当教員TEL/Tel	095(820)6396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：公共経済研究 課題テーマ： 内容と方法：経済学的な手法や理論を用いて、現代社会の諸問題の分析し、これら問題の解決に向けた提言を行います。前期は主に基礎的なテキストを用いて必要な知識の習得に努めます。また後期は、複数名でのグループワークを通じて共同で論文を作成する予定です。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業での質疑応答への貢献、学内学外での報告、提出された論文の内容を総合的に判断して評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：指定されたテキストや研究課題に対して調査分析を行い、結果を資料にまとめること（2H）。 事後：授業中に受けたコメントをもとに報告内容の修正と追加調査を行うこと（2H）		
キーワード/Keywords	政府公共部門、税、社会保障、公共政策、情報通信、メディア		

教科書・教材・参考書/Materials	基礎知識習得のテキストとして以下の文献を候補として考えていますが、参加予定のゼミ生の興味や関心に応じて最終的に決定します。 ・アリエ・L・ヒルマン（2006）『入門財政・公共政策』勁草書房 ・板谷淳一・佐野博之(2014)『コアテキスト公共経済学』新世社 ・ジョセフ・E・スティグリッツ(2003)『公共経済学（第2版）』東洋経済新報社
受講要件（履修条件）/Prerequisites	国際ビジネスプログラム参加学生指導　　否 早期卒業予定学生指導　　可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明します。なお授業回によっては変更する場合もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	政府公共部門が関与する問題（公共財、外部性、公益事業、所得再分配等々）に関心があれば、知識は問いません。知的好奇心が旺盛な人を求めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y：行政機関において情報通信や地方財政などに関する調査研究業務に従事
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	調査研究及び政策実務に従事した経験あり/政府公共部門の必要性や政策の妥当性を評価するための理論的根拠を教授する。
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス
第2回～第15回	研究報告・ディスカッション
第16回	ガイダンス
第17回～第28回	研究報告・ディスカッション
第29回～第30回	最終報告

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000715	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	徐　陽／Yang Xu		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	徐　陽／Yang Xu		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	徐　陽／Yang Xu		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3、4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jxuyang▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	経済学部研究室　本館508		
担当教員TEL/Tel	6-373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの前後の時間を原則とするが、具体的には、初回授業時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：制度会計 授業の概要：企業のステクホルターの利益を調整するシステムとしての企業会計に関する法規制（会社法会計）について、計算と監査と開示の連関的規制を重視する見地から、日本会計基準を学習していく。必要に応じて国際会計基準との違いも説明する。会計学の事例を用いて学習し、諸問題点を見つけ、検討していく。 具体的な方法は、教科書の各章について、分担して報告を行う。報告者は担当部分の内容をプレゼンテーションおよび質疑応答を行い、報告者以外の者も、事前に内容を読んで問題意識を持ち、その内容について全員で議論する。ゼミでは、毎回、報告者以外の参加者にも自分の考えや論点を述べることを求める。授業は対面とリアルタイムオンライン等により行う。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」に基づいて、 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を 総 合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゼミへの貢献、課題への取り組み方、主体的・積極的なゼミへの参加態度、報告やプレゼンテーション、討論への姿勢等を総合的に評価する。　具体的にはプレゼンの準備状況（30%）、討論への参加状況（20%）、各期ごとに提出する課題で評価する（50%）。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：毎回、該当する教科書や参考書の箇所を予習するとともに、関連内容を事前に調べること。報告者は報告内容を分かりやすく説明できるパワーポイントを作成すること。ゼミ生は授業で積極的に質問できるように準備すること。(2h) 復習：指導内容等について復習し、紹介されたHPや文献で理解を深めること。わからない点は友人や教員に質問し、解決すること。(2h)
キーワード/Keywords	日本の会計基準、国際財務報告基準（IFRS）
教科書・教材・参考書/Materials	永野則雄著『ケースでまなぶ財務会計』(最新版) 白桃書房 ※企業会計基準委員会（ASBJ）のホームページを随時参考にすること。なお、IFRSに関する動向に合わせて参考資料を追加する予定である。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：可 その他必要条件：「簿記」と「財務会計論」の講義修済み学生が望ましい
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	国際会計基準審議会（IASB）：https://www.ifrs.org/ 日本公認会計士協会（JICPA）：https://jicpa.or.jp/ 授業は対面形式とオンライン形式（リアルタイム）のハイブリット型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	・面接にあたり、ゼミの志望動機、自己PR等をA４一枚にまとめて、事前にメールにより連絡すること。 ・ゼミの参加には、十分に予習した上で積極的な態度で臨むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	財務会計を学ぶ意義
第2回	会計をめぐる2つのドラマ
第3回	会計の役割と規則
第4回	財務諸表における表示
第5回	財務諸表を読むーやさしい経営分析
第6回	会計の計算原理
第7回	棚卸資産
第8回	有形固定資産
第9回	無形固定資産と繰延資産
第10回	金融資産
第11回	負債
第12回	純資産
第13回	収益・費用・税金
第14回	連結貸借対照表と連結損益計算書
第15回	その他の財務諸表・開示
第16回	決算ー真実な報告と会計戦略

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000716	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	白水　桂子／Shirouzu Keiko		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	白水　桂子／Shirouzu Keiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	白水　桂子／Shirouzu Keiko		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所２階		
担当教員TEL/Tel	連絡はメールを利用してください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの時間の前後。またはメールで連絡を取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：社会言語学 課題テーマ：ことばの多様性 内容と方法：社会言語学で取り扱う内容を概観し、その中で各自が最も興味を引かれるテーマに関して調査、考察してレポートにまとめます。また、プレゼンテーションの練習も行います。 自分の研究テーマについての考察内容をわかりやすく伝え，討論することができるようになる。 現代社会の中で言葉に関わる現象、問題点を見つけ出し、他の関連領域についても調査して、広い視野での分析ができるようになる。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HP の「受講の手引き（学部）」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDP を授業到達目標としています。 DP-3　自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4　現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート40点＋ゼミへの貢献度60点（ルーブリックを用いて評価する） 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[事前学習] 配付資料や参考文献等に目を通してください。また、プレゼンのための資料作成が必要な時もあります。(2h) [事後学習] ゼミで取り扱ったトピックスについて考察した内容を文章にしてLacsで提出する。(2h)		
キーワード/Keywords	言語の多様性、言語変種、言語差の要因		
教科書・教材・参考書/Materials	開講時に連絡します。また、必要な資料は適宜配布します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：否		

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	無断欠席は厳禁です。確実に連絡が取れるメールアドレスを教えて下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	各自の関心がある内容について確認し、個人発表の予定を決める。
第2回	班別の研究テーマを決める
第3回	担当者発表とディスカッション
第4回	担当者発表とディスカッション
第5回	担当者発表とディスカッション
第6回	文献研究・班別研究
第7回	文献研究・班別研究
第8回	文献研究・班別研究
第9回	班別研究報告とディスカッション
第10回	班別研究報告とディスカッション
第11回	班別研究報告とディスカッション
第12回	文献輪読とディスカッション
第13回	文献輪読とディスカッション
第14回	文献輪読とディスカッション
第15回	レポート作成について
第16回	各自のレポートを基にした発表の割当てを決める。 文献輪読とディスカッション
第17回	文献輪読とディスカッション
第18回	文献輪読とディスカッション
第19回	担当者発表とディスカッション
第20回	担当者発表とディスカッション
第21回	担当者発表とディスカッション
第22回	担当者発表とディスカッション
第23回	担当者発表とディスカッション
第24回	卒論テーマについて議論
第25回	担当者発表とディスカッション
第26回	担当者発表とディスカッション
第27回	担当者発表とディスカッション
第28回	担当者発表とディスカッション
第29回	担当者発表とディスカッション
第30回	各ゼミ生の卒論のテーマについての確認

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000717	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	鈴木　崇文／SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	鈴木　崇文／SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	鈴木　崇文／SUZUKI Takafumi		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takafumi.suzuki▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置換えて送信して下さい）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館６階６２４研究室		
担当教員TEL/Tel	Eメール参照		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日　13:00-14:00 水曜日　13:00-14:00 木曜日　10:30-11:30 上記の時間に対面又はオンラインで対応します。事前にEメール又はLACCSメッセージでアポをとって下さい。他の日時についても応相談。 また、Eメール及びLACCSメッセージでの質問も受け付けます。 なお、Eメールで連絡する際は、件名の冒頭に【専門ゼミ】と明記して下さい。 Eメールアドレス：takafumi.suzuki▲nagasaki-u.ac.jp（Eメールを送信する際は▲を@に置き換えて送信して下さい）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：国際貿易政策 課題テーマ：経済上の諸問題と国際貿易との関係 内容と方法：①国際経済関係のテキストの輪読（概要報告＋討論）、②国際経済に関係する時事トピックに関する討論、③班別共同研究（学外発表）		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見て下さい。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自らの報告・発表（質疑・コメントへの対応を含む）[40%]、他の学生の報告・発表に対する質疑・コメント[20%]、共同研究への貢献[40%]を基にルーブリックにより評価し、合計60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（予習）テキストの輪読については、事前に読み込んで議論の準備を行う（発表者は発表資料も作成）。共同研究については、各自担当分の研究を進める。（2h） （復習）テキストの輪読については、ゼミでの議論の内容を整理し理解を深める。共同研究については、ゼミでの議論を踏まえ、方向性・内容について再検討する。（2h）
キーワード/Keywords	GATT、WTO、EPA/FTA、保護貿易、貿易救済
教科書・教材・参考書/Materials	石川城太・椋木寛・菊池徹著「国際経済学をつかむ【第2版】」（有斐閣　2013年）を予定（※変更・追加もあり得ます。）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：特になし 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	専門ゼミは対面で行います。 世界貿易機関（WTO）（https://www.wto.org/） 日本貿易振興機構（JETRO）海外ビジネス情報（https://www.jetro.go.jp/biz/）
学生へのメッセージ/Message for students	・日本経済が直面する諸課題と国際貿易との関係に関心を有する学生を歓迎します。 ・ゼミ活動を通して、探求心を持って課題に取り組む主体性と自己と異なる見解にも耳を傾けて共同で作業を進めていくことのできる協調性を兼ね備えた人物となることを期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木崇文／財務省において国際経済に係る諸機関（WTO、WCO、OECD(DAC)等）及び諸問題（関税及び非関税障壁、貿易救済措置、通関システム、関税技術協力等）を担当、ベルギー（WCO）及び在スイス日本大使館での在外勤務経験あり。
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	「①国際経済関係のテキストの輪読（概要報告＋討論）＋②国際経済に関係する時事トピックに関する討論」と「③班別共同研究」を原則として隔週で行う。

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000718	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	鈴木　斉／SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	鈴木　斉／SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	鈴木　斉／SUZUKI Hitoshi		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階631鈴木研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則として講義終了後に受け付けています。別の時間帯を希望される場合やEメールで対応可能なものについては sigh@nagasaki-u.ac.jp にてご相談願います。Eメールや電話以外の連絡手段については開講時に連絡します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「実践的エコノミスト」の養成に照らして設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生が主体的な学習を行う演習科目であり、１年間を通して一人の教員の指導のもとに履修する必修科目となります。各ゼミは8名から15名の少人数で構成されるため、履修希望者が多い場合は教員と履修希望者との面接等を実施し選抜を行います。専門ゼミの単位修得後は原則として同一教員の指導のもとに卒研ゼミを履修することになります。 演習題目: コンピュータセキュリティ 課題テーマ: コンピュータネットワークを利用する際に必要となるセキュリティに対する基本的な考え方について学習します。 内容と方法: 演習で扱う内容としては、プレゼンテーションの練習、コンピュータの動作原理の理解、プログラミングの考え方の理解、プログラミング実習、ハードウェア制御の理解と実習、実社会におけるセキュリティの考え方の理解、コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方の理解についてを、それぞれ2～6回の講義時間を一つのユニットとしてグループワーク形式で討論や成果物の作成を行ってもらいます。ユニットにおける講義回数は、それぞれ (3,5,5,6,6,3,2) 回となります。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 　DP-3: 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 　DP-4: 現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。 具体的には、コンピュータの基本的な動作原理やコンピュータネットワークの仕組みについて自分の言葉で説明し、その問題点について指摘や、その改善方法について討論することができるようになることを授業到達目標としています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時間2～6回を1つのユニットとしてグループワークを行ってもらいます。ユニットにおける講義回数は、それぞれ（3,5,5,6,6,3,2）回となります。 それらの課題への取り組み方: 30%、主体的・積極的なゼミへの参加態度: 40%、報告やプレゼンテーション: 30%をもとに100点満点に換算し、60点以上を合格とします。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各ユニットの初回講義日に、ユニット内の最終となる講義日に発表を行ってもらう内容と、理解や作業に有用な参考資料、目安となる作業時間等を提示します。成果物作成には講義時間以外にもグループでの作業が必要となります。 それぞれの講義時間内で進捗報告等を行う時間を設けているため、 　予習内容としては、グループワークを円滑に進めるための準備 　復習内容としては、講義時間内に得られた知見を最終報告に向けての反映 として、1週あたり平均して予習・復習にそれぞれ2時間を想定しています。
キーワード/Keywords	プログラミングの考え方 実社会におけるセキュリティの考え方 コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方
教科書・教材・参考書/Materials	テキストは演習参加者と相談の上で決定します。演習導入時点でのテキスト候補としては、 梅津　信幸「あなたはコンピュータを理解していますか？」ソフトバンク クリエイティブとなります。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	専門ゼミを履修するためには、次に掲げる単位数を修得している必要があります。 ●令和3年度以降入学者 　(1) 教養教育科目の修得単位数が22単位以上（外国語科目6単位以上を含む） 　(2) 専門教育科目の修得単位数が26単位以上 ●平成24年度～令和2年度入学者 　(1) 教養教育科目の修得単位数が28単位以上（外国語科目8単位以上を含む） 　(2) 専門教育科目の修得単位数が20単位以上 受け入れコース: 全てのコース 国際ビジネスプログラム受け入れ: 否 早期卒業受け入れ: 否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は教室での対面形式を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン形式に変更される場合があります。 https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	・コンピュータを扱う技能を習熟している必要はありませんが、使用に抵抗感を持たないこと、通常以上の努力・精進ができることは要求します。 ・休業期間中や課外時間を用いて集中的なサブゼミを行ないます。ゼミ活動を優先できるようにしてください。 質問等はメール、または、経済学部本館6F 631鈴木研究室にて直接問い合わせてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents

ユニット1	自己紹介とプレゼンテーションの練習
ユニット2	コンピュータの動作原理の理解
ユニット3	プログラミングの考え方の理解
ユニット4	プログラミング実習
ユニット5	ハードウェア制御の理解と実習
ユニット6	実社会におけるセキュリティの考え方の理解
ユニット7	コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方の理解

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000719	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	髙井　計吾		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	髙井　計吾		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	髙井　計吾		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後、またはメールでアポイントメントを取った日時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：マネジメントの実践 課題テーマ：体験型PBLによるマネジメント実践力の養成 内容と方法：本ゼミの活動はクライアント企業と共同で行われる。4-5名程度からなるチームを編成し、各チームにプロジェクトが割り当てられる。プロジェクトを進捗させていく過程において、課題設定や背景理解、課題解決策の模索、提案、およびその実施から検証まで行うことを主たる活動内容とする。参加者はゼミ活動を通じて、自主的に問いを立て、解決方法を模索し、仮説を立てて検証することが求められる。		
授業到達目標/Course goals	経済学部 HP 「受講手引き（学部）」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 本講義は、 次 のDP を授業到達目標としています。 DP3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して， 現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み（60%）、中間報告・最終成果報告（40%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)次回のゼミ内容に応じた予備調査・情報収集(2h) (復習)当日の活動内容、および自身の態度や姿勢の振り返りと反省(2h)		
キーワード/Keywords	社会人基礎力、経営戦略、プロジェクトマネジメント		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて紹介する		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：経営概論を履修済みであること、経営学、経営組織論、経営戦略論を履修済みまたは今後履修予定であることを推奨する 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：ビジネス実践力育成プログラム参加学生を優先的に受け入れる。「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。学生教育研究賠償責任保険（学研賠）Aコース加入を義務付ける。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	原則として対面で実施する
学生へのメッセージ/Message for students	①多様な情報を収集、吟味すること ②論理立てて考え、説明すること ③他人の意見に耳を傾けること を重視できる受講生を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回～第30回	プロジェクトの計画、実施、発表など

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000720	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	高橋　史早／TAKAHASHI Fumisa		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	高橋　史早／TAKAHASHI Fumisa		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	高橋　史早／TAKAHASHI Fumisa		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahashi_f@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階504		
担当教員TEL/Tel	takahashi_f@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に報告する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：マーケティング 課題テーマ：企業戦略と消費者行動 内容と方法：本ゼミでは，企業の事例と消費者の心理を中心にマーケティング・マネジメントを学ぶとともに，プレゼンテーションやディスカッションの力を高めることを目標とします。取り扱う領域はマーケティング理論・消費者心理を中心に，ブランド，広告，製品開発など，広くマーケティングに関わる範囲を想定しています。 ゼミでは毎回報告者を決め，報告者がテキストの担当箇所についてプレゼンテーションし，受講者と担当教員でディスカッションを行います。報告者以外の受講者は，ゼミで扱う範囲を予習し，内容と疑問点をA4用紙1枚にまとめたレポートをゼミ時に提出することとします。		
授業到達目標/Course goals	マーケティングに関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている（DP2）。 自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる（DP3）。 現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，マーケティングの知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につける（DP4）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　■多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主体的・積極的なゼミへの参加態度（ディスカッションへの取り組み方，プレゼンテーション，レポート，計100点）をもとに総合的にルーブリックを用いて評価する。 60点以上を合格とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：テキストの指定箇所を読み、事前提出レポートを作成することが求められます（2h）。 事後学習：自身の購買行動やビジネス雑誌や新聞などにに関心を持ち、自分なりの考えをもつようにして下さい（2h）。
キーワード/Keywords	マーケティング，サービスマーケティング，消費者行動
教科書・教材・参考書/Materials	テキストは参加者と相談の上で決定します。参考に，テキスト候補として以下の本を挙げておきます。 松井剛・西川英彦「1からの消費者行動」中央経済社
受講要件（履修条件）/Prerequisites	国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	参考となる書籍については、適時アナウンスします。 講義は対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	質問があれば，遠慮なく研究室を訪問して下さい。 学ぶ意欲旺盛な学生を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高橋史早／海外の政府関係者に対する研修経験を活かし，学生の視野を広げるとともに，それを身に付けるために自らが考え行動することを促す
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1～30	プレゼンテーションとディスカッション ，講義は対面で実施する

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000721	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	津留崎　和義／Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	津留崎　和義／Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	津留崎　和義／Turusaki Kazuyoshi		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	turusaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階601		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜12:00～12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：マネジメントの実践 課題テーマ：実践体験型PBLによるマネジメント実践力、社会人基礎力の妖精 内容と方法：4名程度からなるチームを編成し、各チームが1つのプロジェクトを担当する。プロジェクトを進捗させていく過程において、適切な課題設定や背景理解、課題解決策の模索、提案、およびその実施から検証までを主たる活動内容とし、そこで必要な学習を自発的に行う。活動をチーム自らが計画、実行することで、マネジメント実践力やプロジェクト遂行力、デザイン思考力を養うのに加え、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力といった社会人基礎力を訓練する。		
授業到達目標/Course goals	DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み（60%）、研究発表（40%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（予習）次回のゼミ活動内容をふまえての個人学習（2h） （復習）ゼミ活動内容の振り返りと自身の態度や姿勢の振り返り（2h）		
キーワード/Keywords	PBL教育、協同学習、産学連携、マネジメント、イノベーション		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜提示する		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：ビジネス実践力育成プログラムの履修生を優先採用する。「プロジェクト・リテラシー」「ビジネス・リサーチ」科目の内容は既知とする。 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。また学研災付帯賠償責任保険（Aコース）の加入を義務付ける。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	すべて対面形式にて実施
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回～第30回	プロジェクトに対しての調査、計画、実施、発表など

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000722	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	林　徹／Hayashi Toru		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	林　徹／Hayashi Toru		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	林　徹／Hayashi Toru		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	「開講時に連絡する」		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：経営学 課題テーマ：企業経営の基礎 内容と方法： （内容）古典，名著，事例研究。学生懸賞論文，独立開業/事業承継，外国留学，大学院進学，模擬店出店，旅行・合宿，などに対する助言。 （方法）専門ゼミ・卒研ゼミ合同で行う。各自の研究報告と討議。事業計画に対する助言。		
授業到達目標/Course goals	DP-3「自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。」DP-4「現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。」DP-5a「企業を社会的に捉える視点と経営者や管理者の立場から捉える視点を理解している。」これらのために，卒業論文に向けて，各自のテーマを専門領域の通説に対する批判を含めて，自由に探究し，合同ゼミでその成果を報告し，質疑応答を経て，さらに探究を重ねていく。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	いずれも60点以上を合格とする。 （専門ゼミ）卒業論文の予備論文として位置づけられるべき学術論文の作成・報告（70%），合同ゼミにおける報告・討議等の活動に関して具体的かつ詳細に記録されている各人のゼミノート（30%）。 （卒研ゼミ）卒業論文の形式・内容（70%），各人のゼミノート（30%）。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習・復習：以下の内容に関連して，各回，予習・復習にそれぞれ2時間以上を割くこと。 報告レジュメ（研究成果）を事前にLACS掲示板へアップする。 報告後は，討議の結果を必要に応じて，次の報告レジュメにフィードバックを反映させる。 欠席者は，事後に掲示板へ書き込むことにより，毎回，参加しなければならない。		
キーワード/Keywords	学術研究，論理的な記述，レトリック，プレゼンテーション，質疑応答の作法		

教科書・教材・参考書/Materials	なし
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：必須ではありませんが，担当教員の著作（学術書・論文）にふれてください。 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：社会人としての基本的な礼儀作法（年齢学年性別立場の関係なく互いに～さんと呼称，遅刻・欠席するときは事前/事後にゼミ幹事と教員へ連絡，扉の開閉・エレベータの乗降，その他，マナーに関する基礎知識を，できるだけ在学中にマスターしてください）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2999（E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	原則として対面。 OB・OG の卒論タイトル・要旨は『長崎大学経済学部卒業論文要旨集』（分館にも所蔵）を参照。 研究室所属の卒業論文（ゼミノート付録）を627研究室で保管（閲覧は要予約）。 研究室所属の入選作（学部学生懸賞論文，学外の懸賞論文）を627研究室で保管。 主指導の論文（学部・修士・博士）タイトル一覧PDFファイルを請求に応じて提供。 1993-2023：卒論@平均約13編/年；2008-2023：修論計39編・博論計8編（見込み）。
学生へのメッセージ/Message for students	企業経営に関心があればベストです。 具体的な人物や人間関係など，広義の経営に関心があれば，研究の手助けができると思います。 応募者に対する面接は，個別相談済みのばあい，割愛します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程（所得税法上の勤労学生：1983-1988）に在籍中，老舗割箸小売商，有限会社遠州屋商店（横浜市中区長者町）において，横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などとの取引（御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり），視覚障がいをおもちの内職さんとの取引（割箸袋への割箸の挿入），その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般，トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
各回	研究報告と質疑応答（合同ゼミによる）

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000723	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	林川　万理水／Hayashikawa Marina		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	林川　万理水／Hayashikawa Marina		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	林川　万理水／Hayashikawa Marina		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階610番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6386		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日（17:40-18:30）要メール予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：企業情報開示 課題テーマ：社会における説明責任と信頼構築 内容と方法：社会科学の研究方法、専門の基礎知識の習得、自らの問題意識の設定、研究デザインと方法の選択など研究のプロセスを学びながら最終年度に卒業論文作成を行うことを目指す。		
授業到達目標/Course goals	DP-3：自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終的に卒業論文のテーマ設定とリサーチデザインについての発表に3年次ゼミのすべてを集約してもらいます。日頃の中間報告30%と期末のテーマ設定報告70%で評価 授業参加度、授業への取組みなども総合的に評価対象です。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、発表箇所の学びとプレゼンの準備を行う。（２ｈ） 事後には、演習中に学んだことを自己の研究に活かすための振り返りとまとめを文字化する。（２ｈ）		
キーワード/Keywords	情報開示、意思決定、行動学、心理学		
教科書・教材・参考書/Materials	スティーブン・P・スティッチ（他）『断片化する理性』勁草書房，2006年。 ドぐ・サールズ（著）・栗原潔（訳）『インテンション・エコノミー』翔泳社、2013年。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全コース受入れ可 国際ビジネスプログラム受け入れ可 早期卒業受け入れ不可		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	対面形式での開催になります。既定の範囲内で30回中14回をオンラインで開催予定です。具体的な日付は初回に決定いたします。初回の対面ゼミに必ずご参加ください。
学生へのメッセージ/Message for students	公務員や国家資格などの試験勉強対策が必要な学生は各自で行うように時間確保をしてください。 ゼミでは実践現場の問題解決に資する社会科学研究について考え、学び、実践して頂く予定です。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	社会科学研究の意義と方法
第3回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）1 経営学基礎、会計学基礎、リサーチデザインなどを10回に亘り積み上げる
第4回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）2
第5回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）3
第6回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）4
第7回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）5
第8回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）6
第9回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）7
第10回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）8
第11回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）9
第12回	専門知識の習得（ペーパーレビュー等）10
第13回	前期の総括と学習成果の最終発表１
第14回	前期の総括と学習成果の最終発表２
第15回	前期の総括と学習成果の最終発表３
第16回	後期初回オリエンテーション リサーチテーマの報告
第17回	リサーチテーマの発表１
第18回	リサーチテーマの発表２
第19回	リサーチテーマの発表３
第20回	リサーチデザインンとメソッドの決定１
第21回	リサーチデザインンとメソッドの決定２
第22回	リサーチデザインンとメソッドの決定３
第23回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション１
第24回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション２
第25回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション３
第26回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション４
第27回	各自の論文内容の習慣報告とディスカッション５
第28回	最終発表１
第29回	最終発表２
第30回	最終発表３

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000733	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	原　由紀恵／Hara Yukie		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	原　由紀恵／Hara Yukie		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	原　由紀恵／Hara Yukie		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harayukie@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	Room 509 in Main Building, Katafuchi		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	After each class. Also by appointment (Email me).		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：Linguistics 課題テーマ：Language and Interface between Language/Linguistics and Economics & Business 内容と方法： Linguistics is a scientific study of language, which makes us uniquely human. Because language is our daily tool that we all share, leaning linguistics help us understand ourselves (How language works? What are shared systems across human languages like? Does language influence us and our thoughts?). In this course, you are introduced to linguistics [Spring semester], then you find your own questions related to Economics & Business, which can be addressed by using your knowledge of linguistics [Fall semester]. All will be done in English. [Spring semester] Students read book chapters from a linguistics textbook published in U.S.; take turn to give a presentation as well as lead a discussion on each chapter; discuss & understand the topic well; bring relevant news article/information on a given topic to think about questions related to language, Business, and Economics. [Fall semester] Based on your learnings in Spring semester, students are likely to form groups (or go by individuals) and work on a research project. That is, students research a topic of their interests, by collecting previous research articles, finding current trends in Linguistics, Business, and Economics, pointing out related current issues found on newspapers or other materials, and give a presentation to report their findings. Students all develop discussions and give feedback to peers.		
授業到達目標/Course goals	After having completed this course, students will be able to: ・Understand the basics of linguistics ・Find topics / questions on the interface between Language/Linguistics and Economics & Business ・Collect and organize information to develop their thoughts and critically exchange opinions ・(Academically) use English with increased experience, confidence, and fluency Above goals are linked to the Faculty-of-Economics DP goals as follows: DP3 自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP4 現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力		

知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness ■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	• Participation (Discussion Comments, Overall Activities) 40% • Presentation & Discussion Leader, Project Reports 60% (Details will be announced in class) Your contributions to weekly classes are crucial in your final grade. Remember that your participation does not mean just showing up but working actively in class. If you are late, or leave earlier, more than 20 minutes, you will be considered absent. Three tardies or leaving-early are considered equivalent to one absence. If you miss more than a third of classes, you will fail.
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Be sure to complete your reading and preparations for your {presentation/ discussion/ research /assignment etc.} before each class time and be ready to fully utilize chances of class discussions and learnings (2h). After each class, review and master the new concepts and continue developing your thoughts and research, which will be helpful for your projects, thesis, as well as for your future career (2h).
キーワード/Keywords	Linguistics, Language, Interface between Language/Linguistics and Economics & Business
教科書・教材・参考書/Materials	Textbooks are currently in careful consideration and to be announced at the 1st session. (Having said so, currently considered books include: Dechaine, R. M., Burton, S., & Vatikiotis-Bateson, E. (2012). Linguistics for Dummies. John Wiley & Sons. This is tentative so please do NOT purchase the book yet).
受講要件（履修条件）/Prerequisites	国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件 ・（ゼミ配属後） 本ゼミ生は、経済学部留学生チューターに登録すること。 ・多読精読、発表、ディスカッション、リサーチ、卒論執筆等、英語で全てやりおおせる覚悟と責任があること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	(This class will be conducted physically, with a possibility of being conducted through a live online platform depending on the Covid situation, etc.)
学生へのメッセージ/Message for students	前半は言語学（言語を対象とした科学）の基礎を英語「で」学び、後半は言語学の知識を、各自が「経済・経営」に見つける問や課題にどう活かせるか考え取り組みます。詳しくは上記シラバスをしっかり読んでください。全て英語で行い、情報を目的をもって読み込み・調査・まとめ、自分の意見を持ち、発表・ディスカッションでの発信につなげます。受講者の積極的な発言を求めます。一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1	Orientation and Introduction to Seminar: Linguistics
2 ～ 30	As described above in the section of 'Course overview'

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000724	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	藤田　泰昌／Taisuke Fujita		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	藤田　泰昌／Taisuke Fujita		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	藤田　泰昌／Taisuke Fujita		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3，4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujitatf@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：国際関係論 課題テーマ：国際関係を社会科学の観点から考察する 内容と方法：社会の現状について疑問を持つ、学術文献（日英）をきちんと理解する、他者の考えの問題点や改善案を提示する、有意義な問いを立てる、論理的に議論を組み立てる、仲間と協力して調査等を進める、明解な発表や論文執筆を行う、仲間やチームに貢献する。以上の能力を一定程度以上の水準で身に付けることを目標とします。そのため、文献を踏まえた議論、グループ・ワーク、研究発表、他大学との合同ゼミ（合宿）、論文執筆などを行います。		
授業到達目標/Course goals	経済学部 HP の「受講の手引き（学部）」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次の DP を授業到達目標としています。 DP-3: 自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4: 現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ルーブリックに沿って判断します。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】指定された文献の読み込み、グループ・ワークに向けた準備、研究発表に向けた準備など(5h) 【復習】ゼミでの議論を振り返る、研究発表に向けた修正点について考察する (1h)		
キーワード/Keywords	社会科学、国際関係、グループワーク、研究発表		
教科書・教材・参考書/Materials	ゼミ生と相談のうえで決定します。例として、以下を挙げておきます。 ・ロバート・ギルピン『覇権国の交代』 ・吉田徹『くじ引き民主主義』 ・久米郁男『原因を推論する』		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	本演習に応募する前に、必ず、担当教員にコンタクトを取り、演習内容を把握していること。 受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：「国際関係論ⅠおよびⅡ」の授業を履修済みであること、あるいは専門ゼミ履修年度に履修すること 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	原則、対面方式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	ゼミに向けての準備やゼミの時間帯での議論など、各ゼミ生が時間と労力をかけることが前提です。きちんと勉強して卒業したい、という方々をお待ちしています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1-15	文献読解、グループワーク、研究発表、論文執筆など

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000725	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	辺見　英貴／hemmi hidetaka		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	辺見　英貴／hemmi hidetaka		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	辺見　英貴／hemmi hidetaka		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidetaka.hemmi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階608研究室		
担当教員TEL/Tel	hidetaka.hemmi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：マネジメントの実践 課題テーマ：問題解決型のプロジェクトによる組織や地域の問題を解決するビジネスパーソンの涵養 内容と方法：本研究室では、社会課題を解決する優秀なビジネスパーソンになることを目的に、産学連携プロジェクトを通して組織で生じる問題を解決する能力を養うことを目指す研究室である。具体的には、少人数のチームを編成し、企業や地域へのフィールドワークやグループワークを行いながら、企業や地域が抱える課題を発見・解決していく。本演習を通して、企業や地域が抱える問題を解決するために、学生自らが問いを立て、仮説を構築し、問題解決のアイデアを創出し実行するプロセスを学習していく。この学習過程では、経営学の知見の応用のみならず、自分の意見を伝える力、チームで協力する力が必要である。加えて、本研究室では、企画やプロジェクトに対する「意味づけ」を重要視する。意味づけは物事を終えた後に反省することでつくられる。例えば、地域の人々に向けた取り組みの結果、どんな意味があったといえるのかを反省的に考察していく。以上の取り組みを経て、社会で活躍するビジネスパーソンになることを目指していく。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート（100点）のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（予習）企業が抱える課題の探索のための事前調査、課題解決のための仮説構築およびアイデアの創出（2h） （復習）実行後のリフレクション（2h）		

キーワード/Keywords	経営管理、経営組織、組織行動、マーケティング
教科書・教材・参考書/Materials	課題解決に関連する書籍を適宜紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：特になし 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：プロジェクト演習を受講できる学生であること。 なお、受け入れはビジネス実践力育成プログラムの履修生を優先する。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は対面形式で実施する。初回に授業計画を説明する。なお、状況によって場所や日時を変更する場合もある。変更の場合は連絡するので確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	本ゼミは、ビジネス実践力育成プログラム対象の実践型ゼミです。 ゼミに関する疑問や懸念点などの個別相談を希望の学生は、メールでの問い合わせを受けつけます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1～8回（4・5月）	本演習はクライアントやフィールドの状況によって、予定が変更する可能性がある。ゆえに、講義スケジュールは大まかな目安であることを留意されたい。 本演習は、少人数のチームで活動する。ゆえに、グループワークが不可欠である。また、下記活動の詳細なプランニングもチームで練り上げていく。 【現状分析と課題抽出】 序盤は、アイデアを生み出すための文献調査や実態調査としてのフィールドワークを行う。フィールドワークを通して、対象地域や事業者（企業）が抱える課題を抽出していく。
第9～15回（6・7月）	【問いと仮説とアイデアの創出】 課題に基づいて、問うべき問いや、仮説の構築を試みる。その後、アイデアの創出をし、アイデアを事業者および教員などの関係者にプレゼンテーションする。 プレゼンテーションのフィードバックをもとに、アイデアを改善し、最終的に実現可能なアイデアの実行に向けて準備を行う。
第16～23回（10・11月）	【リフレクション】 アイデアの実行後は、チームや個人でリフレクション（内省）を実施し、アイデアにどのような意味や価値があったのかについて議論していく。この議論を活動報告書の土台にしていく。
第24～30回（12・1月）	【活動報告書の作成】 ゼミ活動を経て、「現状分析、課題抽出、問い・仮説およびアイデア創出、リフレクション」をまとめた活動報告書の作成を行う。

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000726	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	丸山　真純／Maruyama Masazumi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	丸山　真純／Maruyama Masazumi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	丸山　真純／Maruyama Masazumi		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に報告する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	題目：　異文化コミュニケーション論 テーマ：　日米と北欧を中心とした異文化コミュニケーション概論 内容と方法： 　３年次は、前期は、異文化コミュニケーションに関する基礎的な考え方を以下を通じて学ぶ。第１に、英文の平易なテキストを用いて、基本的な概念を学ぶ。テキストはアメリカ社会を背景にしているので、アメリカ社会を一つの鏡にすることになる。第２に、諸外国出身のゲストスピーカーを迎えて、異文化に関わる知識や異文化に身をおくことについての文化社会心理学的理解を深めるとともに、実際のコミュニケーション経験を通じて、価値観、世界観、行動様式の多様性にふれる。留学生や地域の方と活動する場面を儲けたいと思っています。 　内容と方法についての詳細は、ゼミ生と話し合いながら決定する。 　後期は、異文化コミュニケーションに関する課題について、グループ活動を行う。 　４年次は、卒論に向けて、各自の関心に応じたテーマについての研究報告を中心に行う。 「実践的エコノミスト」の養成に照らして設定する課題・テーマや指導方針に基づき，学生が主体的な学習を行う演習科目であり，１年間を通して一人の教員の指導のもとに履修する必修科目である。 　各ゼミは６名から１２名の少人数で構成されるため，履修希望者が多い場合は教員と履修希望者との面接等を実施し選抜を行う。 　専門ゼミの単位修得後，原則として同一教員の指導のもとに卒研ゼミを履修する。		
授業到達目標/Course goals	DP-3: 自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4: 現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゼミの課題・テーマに対する取り組み方，主体的・積極的なゼミへの参加，報告やプレゼンテーションなどを基本として，指導教員が成績評価を行う。 詳細は、初回に説明する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【準備学習】毎回、該当する教科書や参考書の箇所（授業時に次回の準備学習について指示します）を２時間/週で読む・書くことをしてください。準備学習により理解していない点を明確にし、積極的に授業で質問するようにしてください。(2h) 【復習】 演習内容について、テキストを読んで復習し、理解できない点は図書やインターネットを用いて調べること。また、演習で紹介する文献等から興味のあるものを読むこと。(2h)
キーワード/Keywords	異文化コミュニケーション
教科書・教材・参考書/Materials	３年次については、受講者の希望を勘案して決定するが、以下のようなテキストを候補として考えている： John G. Oetzel. Intercultural Communication: A Layered Approach, 2012, Pearson. Ingrid Piller, Intercultural Communication: A Critical Introduction, Edinburgh University Press.
受講要件（履修条件）/Prerequisites	専門ゼミを履修するためには，次に掲げる単位数を修得していなければならない。 ●令和3年度以降入学者 (1)教養教育科目の修得単位数が22単位以上（外国語科目6単位以上を含む） (2)専門教育科目の修得単位数が26単位以上 ●平成24年度入学者～令和2年度入学者 (1)教養教育科目の修得単位数が28単位以上（外国語科目8単位以上を含む） (2)専門教育科目の修得単位数が20単位以上 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	対面で実施する 異文化コミュニケーション論を履修済みであることが望ましい 留学生のチューターなど、留学生との交流を望む学生を歓迎します
学生へのメッセージ/Message for students	ゼミの内容等について質問がある場合、研究室を訪問して下さい。 e-mailも可： masazumi@nagasaki-u.ac.jp また、先輩ゼミ生に話しを聞いてみてください。 ゼミはあくまでも主体的に学ぶ場です。学ぶ意欲旺盛な学生を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1～30回	研究報告とディスカッション

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000727	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	南森　茂太／Minamimori Shigeta		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	南森　茂太／Minamimori Shigeta		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	南森　茂太／Minamimori Shigeta		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階 625研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日　１２：１０～１３：１０		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：日本経済史 課題テーマ：長崎居留地の歴史、そして未来 内容と方法 【内容】 日本は1858年に欧米5か国と修好通商条約を締結しますが、その中には開港地に居留地を設けることが掲げられます。長崎では1860年より大浦一帯が埋め立てられ居留地が造成されています。専門ゼミではこの長崎居留地をテーマとした研究に取り組んでいきます。具体的なテーマとしては、居留地は日本の近代化をどのように支えたか、居留地は日本人の暮らしにどのような影響を及ぼしたのかという歴史的な研究も考えられます。また、居留地に残された歴史的遺産を今後どのように保存、活用していくべきかといった未来志向の研究も考えられます。皆さんがご自身で選んだテーマにつて2年間じっくりと研究してください。 なお、2024年はグラバー園が開業50年にあたり、グラバー園の皆様とタッグを組んで、研究を進めていくことになります。 【方法】 3 年前期：ゼミでの学習についてのガイダンス・ワークの後、グループでテーマを選定、調査・検討し、プレゼンテーションをおこなう。 3 年後期：前期の研究を深化し、学内外で研究発表をおこなう。 4 年前期：卒論テーマを決め、就職活動と調整しながら、指導を受ける。 4 年後期：卒論の執筆、提出。		
授業到達目標/Course goals	（DP-3）自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 （DP-4）現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	研究成果の報告内容（100%）		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：ゼミ報告に向けての準備（2h） 事後学習：報告に対するコメントを反映した報告内容の加筆・修正(2h)
キーワード/Keywords	長崎、経済人、「近代化」、居留地
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：なし 参考書：ゼミ生の研究テーマに応じて適宜紹介します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	対面で実施
学生へのメッセージ/Message for students	・ゼミ内容などに質問がある場合はゼミ見学、個別相談を利用してください。 ・面接にあたり、志望理由書を A4用紙に800字程度でまとめて持参してください。 ・学外でのゼミ活動(研究調査、合宿、他大学との合同ゼミ)に意欲のある学生を募集します。 ・ゼミ生の主体的な活動により、ゼミの伝統を築きあげていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	※Nの場合…記入不要 Yの場合…（例）○○社において、△△の開発に従事／△△について教授
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1～30回	研究調査、研究報告とディスカッション

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000728	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	三輪　加奈／MIWA kana		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	三輪　加奈／MIWA kana		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	三輪　加奈／MIWA kana		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-miwa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階 623研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにて連絡をしてください。（k-miwa@nagasaki-u.ac.jp）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：　開発経済演習 課題テーマ：　開発途上国の抱える問題・課題を考える 内容と方法：　本演習では、開発途上諸国における貧困、社会・経済開発の問題等を扱います。具体的に、前期は開発途上国の貧困問題について、その現状を学び、また貧困削減に向けた社会・経済開発について基礎的な知識を養うことを目的に、関連する文献などを読み、担当者からの報告を求めます。後期は、前期のゼミなどで得られた知識などをベースに、ゼミ生同士のグループワークやプレゼンテーションを中心に議論・討論を行います。		
授業到達目標/Course goals	専門ゼミは、次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的・主体的なゼミへの参加態度（輪読、プレゼン、グループワークへの取り組み方など）をもとに総合的にルーブリックを用いて評価する（計100点）。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（予習）テキストの次回の学習範囲の予習や、指定した文献探索などをしてもらいます。（2h） （復習）ゼミでの内容を整理し理解を深めます。追加調査やグループでの追加作業を求めることもあります。（2h）		
キーワード/Keywords	開発経済学、開発途上国、貧困削減、国際協力、SDGs		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は受講者と相談して決めます。 参考書も適宜紹介します。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：　全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：　特になし（ただし演習開始前に課題を課す場合があります） 国際ビジネスプログラム受け入れ：　可 早期卒業受け入れ：　可
アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業形態は、対面授業とします。（留学中の学生はオンラインでの参加可）
学生へのメッセージ/Message for students	グループワークなど、ゼミに関する活動に主体的・積極的に参加できる学生を希望します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1～15回	テキストの輪読
16～30回	グループワーク（開発途上国や国際協力などに関するディベートやプレゼンなど）

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000729	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	森保　洋／Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	森保　洋／Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	森保　洋／Moriyasu Hiroshi		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	moriyasu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所3階313番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：計量経済学とデータサイエンス 課題テーマ：因果推論と計量経済学を利用したデータ分析 内容と方法： 「あるメールマーケティングを行った結果、商品の売り上げが増加したか？」「ある学校が移転したことで、周辺の地価が下落したか？」「会社の社長が交代したことで、その企業の利益が増加したか？」など、あるイベントが何かに影響を与えたかどうか、検証したいケースに我々はよく遭遇します。このようなとき、単純にイベント前後のデータの大小を比較すれば良さそうな気もしますが、問題はそんなに簡単ではありません。 本演習では、イベントの効果を正しく検証するために必要な、因果推論と計量経済学の手法を学びます。また、実際に統計分析プログラムRとデータを利用し、コンピュータ実習を行います。プログラムの作成にはChatGPT等の生成AIも利用する予定です。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題への取り組み方(40%)、積極的なゼミへの参加態度(30%)、報告や作成したレジメ(30%)をもとに判断し評価を行います。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（予習）テキストの次回の学習範囲の予習や、指定した動画の視聴、文献探索をしてもらいます。（2ｈ） （復習）ゼミでの内容を整理し理解を深めます。追加調査やグループでの追加作業を求めることもあります。（2h）
キーワード/Keywords	計量経済学、因果推論、データ分析、プログラミング、R、オープンデータ
教科書・教材・参考書/Materials	安井翔太(2020)『検証効果入門』、技術評論社
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：計量経済学を受講していることが望ましい 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	演習はゼミ生による輪講形式をとりますので、ゼミ生の積極的な参加が要求されます。また、データ取得・分析の過程でコンピュータ・プログラムを作成します。コンピュータの利用・データ分析に興味がある学生さんの参加を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
毎回	テキストの内容報告とディスカッション、パソコンを利用した計量分析

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000730	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	山口　純哉／Yamaguchi Junya		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	山口　純哉／Yamaguchi Junya		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	山口　純哉／Yamaguchi Junya		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所２階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：地域経済論 課題テーマ：個人・組織の社会性と地域社会の持続可能性 内容と方法：地域の個人や企業の社会性と地域社会の持続可能性との関係について、先行文献等の渉猟、報告やディスカッションなどによる机上の学びとフィールドワークによって研究するとともに、学外のNPO、企業や行政と協働して研究成果の活用等の実践を試みる。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゼミの課題・テーマに対する取り組み方（30%），主体的・積極的なゼミへの参加（30%），報告やプレゼンテーション（40%）によって評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習10h：文献を渉猟し、その内容を報告するための準備 復習10h：報告した結果を踏まえ、今後の課題を整理		
キーワード/Keywords	地域経済、地域政策、持続可能性、ソーシャルビジネス		
教科書・教材・参考書/Materials	輪読用の文献等については、開講後に受講生と相談する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：ビジネス実践力育成プログラム参加学生については、同プログラム所定の科目を履修しておくこと。 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：ビジネス実践力育成プログラム参加学生を優先的に受け入れる。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	ゼミは、原則、対面で実施しますが、必要に応じてオンラインも活用します。
学生へのメッセージ/Message for students	机上の学びとともに、地域社会と連携したフィールドワークに取り組みますので、相応の負荷がかかります。近年、サークル、アルバイトや資格試験勉強など、自らの都合を優先して学内外の関係者に多大な迷惑をかける学生が散見されます。全てに優先してゼミに取り組む気概のある学生以外は応募しないでください。 地域社会の問題解決について、学問を志す学生として、研究や実践を最後までやり抜く意志を持った学生を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
全回	研究報告とディスカッション、もしくはフィールドワーク

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000731	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	吉沢　裕典／yoshizawa yasunori		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	吉沢　裕典／yoshizawa yasunori		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	吉沢　裕典／yoshizawa yasunori		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yoshizawa▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 510号室.		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：ミクロ経済学. 課題テーマ：理論ミクロ経済学とその応用. 内容と方法： ・3年次は基礎的な理論ミクロ経済学またはゲーム理論のテキストを輪読，あるいは実際の研究論文を精読し，内容について資料を作成し，プレゼンテーションを行ってもらう．3年次終了時迄に，各自の興味に基づき卒業論文のテーマを決めてもらう. ・4年次は3年次に決めた卒業論文のテーマで論文執筆を行ってもらう．卒業論文執筆の進捗状況について報告を求める場合がある. 位置づけ：大学での学修の集大成として，4年次には卒業論文を執筆してもらうが，ゼミ活動および卒業論文執筆の過程でゼミ生は様々な「勉強」を行うこととなる． この「勉強」は試験で良い点数を取るための勉強とは違い，論文執筆に必要な事柄を自主的に行う行為であることに留意すること.		
授業到達目標/Course goals	経済学部 HP の「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見よ. 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としている. DP3: 自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる. DP4: 現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・【専門ゼミ】3年次終了までに，次の科目の履修を義務付ける. ミクロ経済学I，ミクロ経済学II，経済数学，統計学，計量経済学I・II，応用数理I，数理計画法. 3年次終了までにこれらの科目を履修しない場合は成績を「失格」とする．この上で，主体的・積極的なゼミ活動への参加態度，報告やプレゼンテーションをもとに総合的に判断する. ・【卒研ゼミ】卒業論文作成プロセスと提出された卒業論文をもとに総合的に判断する.		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本来，研究を行うための学習には終わりが無い．従って，予習復習の時間はあくまでも目安であって，その時間だけ学習すれば研究が行えるようになるわけでは無いことに留意すること． 【予習】報告者はテキストまたは研究論文の該当箇所を精読し，発表資料を作成すること．聴取者も該当箇所について内容を把握しておくこと(2h以上)． 【復習】より理解を深めるために，問題演習に取り組むこと(2h以上)．
キーワード/Keywords	理論ミクロ経済学，ゲーム理論．
教科書・教材・参考書/Materials	【テキストの輪読をする場合の候補】 ・Robert Gibbons (1992) "Game Theory for Applied Economists," Princeton University Press（福岡 正夫・須田 伸一訳，2020『経済学のためのゲーム理論入門』岩波書店）． ・Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein (1994) "A Course in Game Theory," MIT Press. ・岡田 章 (2021)『ゲーム理論 第3版』 有斐閣． ・渡辺 隆裕 (2021)『一歩ずつ学ぶ ゲーム理論 －数理で導く戦略的意思決定－』裳華房． 【参考書】 ・岡田 章 他 (2015)『ゲーム理論ワークブック』有斐閣． ・岡田 章 (2014)『ゲーム理論・入門――人間社会の理解のために 新版』 有斐閣． ・梶井 厚志・松井 彰彦 (2000)『ミクロ経済学 戦略的アプローチ』 日本評論社． ・渡辺 隆裕 (2008)『ゼミナール ゲーム理論入門』 日本経済新聞出版社． ・Andreu Mas-Colell, Michael D. Winston and Jerry R. Green (1995) "Microeconomic Theory," Oxford University Press. ・神取 道宏 (2014)『ミクロ経済学の力』日本評論社． ・林 貴志 (2013)『ミクロ経済学 増補版』ミネルヴァ書房． ・尾山 大輔，安田 洋祐編著 (2013)『改訂版 経済学で出る数学』日本評論社．
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：コースは問わない． あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：以下の科目を3年次終了までに履修すること．これらの科目の履修が認められない場合，卒業研究に取り掛かれないと判断し成績評価を『失格』とする(つまり留年する)． ミクロ経済学I，ミクロ経済学II，経済数学，統計学，計量経済学I・II， 応用数理I，数理計画法． 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	・対面で実施する． ・中級レベルのミクロ経済学のテキスト(例えば，神取 道宏，2014『ミクロ経済学の力』日本評論社，あるいは，林 貴志，2013『ミクロ経済学 増補版』ミネルヴァ書房)やゲーム理論のテキスト(例えば，岡田 章，2021『ゲーム理論 第3版』有斐閣)を1冊自力で完読しておくと良い． ・経済学で使う数学について良く分からない者は経済数学のテキスト(例えば，尾山 大輔，安田 洋祐編著，2013『改訂版 経済学で出る数学』日本評論社)を1冊自力で完読しておくと良い．
学生へのメッセージ/Message for students	・応募に際しては，個別相談の時間などを利用し，内容などに関して事前に必ず説明を受けてから応募すること．事前説明を受けない者は受入不可．事前にメールをもらえれば，個別相談の時間以外も可能な限り対応する． ・大学での学修の集大成として，4年次には卒業論文を執筆してもらうが，ゼミ活動および卒業論文執筆の過程でゼミ生は様々な「勉強」を行うこととなる． この「勉強」は試験で良い点数を取るための勉強とは違い，論文執筆に必要な事柄を自主的に行う行為であることに留意すること． ・ミクロ経済学の基礎理論は学習に相当のコミットメントをしても，論文が書き難い分野であることも考慮すること．一方，ミクロ経済学の理論を応用し，現実の社会問題を上手く説明することは比較的取り組み易い．従って，社会に対して関心を持っておくと良い． ・吉沢は理論ミクロ経済学を専門としているが，実証分析を行いたい学生を受け入れる場合がある．受け入れる条件は，1．計量経済学や統計学といった実証分析に必要な基礎分野の自主学習ができ，2．実証分析を行いたい経済学あるいは社会の問題が明確であり，3．実証分析を行うためのデータの入手可能性が明白であるという3つの条件をすべて満たしている場合である．なお，吉沢はデータの入手方法一般について詳しいわけではないので，応募者がデータの入手可能性についても説明する必要があることに注意すること．
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N

実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1-30回	輪読，研究報告，ディスカッション，研究指導

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード／Time schedule code	20241510000732	科目番号／Course code	15100007
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名／Course title	専門ゼミ／Special Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	林　麗桂／LIN Ligui		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	林　麗桂／LIN Ligui		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	林　麗桂／LIN Ligui		
科目分類／Course Category	演習，自由専門科目		
対象年次／Intended year	3，4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	linty1210@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館531研究室		
担当教員TEL/Tel	080-4125-3018		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて事前連絡（月、火、金 18:00～19:00）（祝休日を除く） linty1210@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：組織行動心理研究 課題テーマ：開講後に履修生が主体になって決める 内容と方法：学生に研究テーマを決めて、そのテーマの仮説を立てて調査を行い、結論を見出す上で主体的に行動することを学ぶ。各段階で得られた結論や進捗については定期的にレポート・プレゼンテーション・論文などの形で教員とゼミのメンバーの前で発表し、質疑応答に対応したり議論を行ったりする。また教員は適宜にアドバイスする。		
授業到達目標/Course goals	DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　■多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループワークへの参加度：40% 中間報告：30% 最終報告：30%		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（予習）指定された資料や課題を事前に予習し、文献を検索した上で、自らの見解をまとめておくこと（2h）。 （復習）ゼミでの内容を整理し理解を深める。追加調査やグループでの追加作業を求めることもある。（2h）		
キーワード/Keywords	研究テーマ、文献調査、経営組織		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定なし		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	・受け入れコース：経営と会計コース ・あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：経営管理論や経営組織論に興味を持つこと、または履修したことがあること ・国際ビジネスプログラム受け入れ：否 ・早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	対面
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション（対面）
第2回	グループワークを通じて研究テーマを決める（対面）
第3～14回	研究調査、進捗共有とディスカッション（対面）
第15回	中間報告（対面）
第16～29回	研究調査、進捗共有とディスカッション（対面）
第30回	最終報告（対面）